

北海道議会時報

第32巻 第5号



昭和55年第2回定例道議会

北海道議会事務局

北海道議会時報

(昭和55年第2回定例道議会)

(表紙写真説明)

ホ オ ノ キ

日本各地、中国に分布するモクレン科の広葉樹で、葉は本道で最大。材は木版、細工用材として広く用いられ、樹皮や果実は薬剤などに利用される。

(写真提供 一道生活環境部環境影響審査課
村野 紀雄氏)

第2回定例道議会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	11
決議案・意見案	15
請 願・陳 情	19

委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	24
常 任 委 員 会	30
特 別 委 員 会	37
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
有珠山噴火災害対策特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	48
都道府県議会議員共済会	49

資 料

第2回定例道議会において議決を経た 条例の公布調	50
-----------------------------	----

7 月 の メ モ

BY THE PEOPLE OF THE STATE OF TEXAS, FOR THE PURPOSES OF THE

各常任、総合開発調査特別、石炭
対策特別、北方領土対策特別、公
害対策特別各委員会

第2回定例道議会

北海道とカナダ・アルバータ州との友好親善促進 に関する決議案可決

概 要

- ① 国政史上初の衆参両院同日選挙の余韻の残る中で、第2回定例会は、6月28日招集され、今期定例会の会期を7月17日までの20日間と決定の後、総額4億9千万円余の昭和55年度一般会計補正予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から提出案件に関する説明。ついで、副知事選任案件について提案説明の後、起立採決の結果、同意議決。次に、前会より継続審査中の北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案に対する委員長報告の後、討論、起立採決の結果、委員長報告のとおり修正議決し、これに関連する請願及び陳情を起立採決によりいずれも不採択と決定した。次に、意見案1件を可決の後、議案調査のため、翌30日から7月3日まで4日間休会した。
- ② 休会あけの7月4日から代表質問に入り、5日には常任委員の所属変更及び特別委員の補欠選任を行い、8日は「国内石炭鉱業安定のための要望意見案」を可決し、同日、代表質問を終え、引き続き一般質問に入った。11日に一般質問を終え、31人からなる予算特別委員会及び19人からなる企業会計決算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、7月12日から7月16日までの5日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、7月11日正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、12日から昭和55年度一般会計補正予算等に対する各部所管審査に入り、18日に審査を終了し、同日、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、質疑終結後意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず起立採決の結果、原案可決と決定した。
- ④ 本会議再開日の7月17日には会期を18日まで1日間延長した。最終日の18日は、まず、昭和55年度一般会計補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも各委員長報告のとおり、原案可決又は承認議決。ついで、出納長の選任同意案件等の人事案件等について採決の結果、いずれも原案のとおり同意議決又は原案可決。次に、「北海道とカナダ・アルバータ州との友好親善促進に関する決議案」及び「家庭用灯油の価格の抑制に関する要望意見案」ほか2意見案を可決の後、前会から継続審査中の昭和53年度各会計歳入歳出決算、昭和54年度企業会計決算の継続審査及び閉会中請願・陳情継続審査、事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、昭和53年度各会計決算及び昭和54年度企業会計決算を除きすべて議了。議長から、閉会のあいさつがあって、開会以来21日目の7月18日午後11時18分閉会した。
- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況							計
		原案可決	否 決	修正議決	同意議決	承認議決	継続審査	報告のみ	
知 事	78	22		(1)	5	21	7 (1)	23	78 (2)
議 員	7	6	1						7
計	85	28	1	(1)	5	21	7 (1)	23	85 (2)

注 かっこ内は継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○6月28日(土) 午前11時44分開議、西尾六七議長、昭和55年第2回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、北村義和議員(自民)の辞職願いについて6月1日許可した旨並びに元道議会議員岡嶋保二郎氏(4月1日)、同松浦周太郎氏(6月8日)、同後藤三男八氏(6月19日)の逝去について弔意を表した旨を報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月17日までの20日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、知事から提案説明の後、議案第22号北海道副知事の選任につき同意を求める件について、委員会付託を省略のうえ、採決に入り、起立採決の結果、起立多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり同意議決。次に、

日程第4 前会より継続審査の議案第70号、

日程第5 請願第58号、陳情第12号、第14号ないし第18号、第21号ないし第25号、第27号及び第30号並びに

日程第6 陳情第32号ないし第51号を一括議題とし、日程第6の陳情第32号ないし第51号について委員会付託を省略、日程第5の請願第58号、陳情第12号、第14号ないし第18号、第21号ないし第25号、第27号及び第30号に関する委員長報告を省略の後、日程第4の前会より継続審査の議案第70号について伊藤知則総務委員長(自民)から委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、小田原要四蔵議員(社会)から前会より継続審査の議案第70号及び日程第5の請願、陳情審査結果の不採択に関する反対討論並びに日程第6の陳情を採択とすることに関する賛成討論、寺崎政朝議員(自民)から前会より継続審査の議案第70号及び日程第5の請願、陳情審査結果の不採択に関する賛成討論並びに日程第6の陳情を採択とすることに関する反対討論、本間喜代人議員(共産)

から前会より継続審査の議案第70号及び日程第5の請願、陳情審査結果の不採択に関する反対討論並びに日程第6の陳情を採択とすることに関する賛成討論があって討論終結。

ついで、採決に入り、まず、日程第4、前会より継続審査の議案第70号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって委員長報告のとおり修正議決。次に、日程第5、請願第58号、陳情第12号、第14号ないし第18号、第21号ないし第25号、第27号及び第30号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって請願・陳情審査報告書のとおりいずれも不採択と決定。次に、日程第6、陳情第32号ないし第51号を問題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、道政反対)をもっていずれも不採択と決定。ついで、

日程第7 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。ついで、議案調査のため6月30日から7月3日まで4日間休会、7月4日再開することに決定して午後零時20分散会。

○7月4日(金) 午前10時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、代表質問に入り、

舟山 広治議員(社会)から、

- ① 道政の方向と政策決定の機能に関し、事務事業の見直しの趣旨と政策選択の理念、見直しの結果と年次計画作成の考え、事務事業見直し推進連絡会議の運営に係る国、道、市町村相互間の機能分担及び権限移譲問題に対する取り組み方、財政計画の必要性、経済動向の把握と政策決定との関連、情報公開制度に対する基本的な考え方、外務省職員の道への派遣要請の趣旨と地方自治体の独自外交に対する見解、派遣職員の身分と主要業務及び道行政における位置づけ
- ② 産業経済問題に関し、本道経済政策の基調、55年度公共事業の執行方針、セメント価格等の本道と本州との価格差の実態と要因、プロパンガスの価格差に対する認識と価格安定に係るLPガス事業資金融資制度の運用のあり

方、道民生活安定条例に基づく価格安定方策と価格差の解消見通し、国鉄青函擬制キロ運賃制度の解消に対する取り組み状況と今後の見通し

- ③ 開発と自然保護に関し、日高えりも国定公園指定に係る自然環境保全審議会の作業の進め方と日高横断道路計画との関連、審議会の審議対象と公園指定の見通し、札内ダムの規模等の構想と日高横断道路計画との関係、開発道路に関連する資料の公表、道議会への提出に対する見解、道条例に基づく環境影響評価書の不備及び住民の意見の取り扱い
- ④ 稲作問題に関し、本道農業の位置づけ、国の第2期水田利用再編対策に対する対応、道産米の自主流通についての考え方、転作に伴う農業所得への影響と対処策、55年産米価に対する見解、北海道地域別農業経営指標における地元意向の反映状況、経営指標と発展計画との関連、稲作複合経営による農業所得維持の見通し、稲作の適地基準としての積算温度と水田面積との関係に対する見解
- ⑤ 酪農問題に関し、生乳の生産過剰の要因、乳製品の輸入抑制に対する取り組み方、本道酪農の位置づけと生乳計画生産に対する考え方及び国への働きかけ方、牛乳の道外移出に伴う他府県生産者等への影響と対処方針、乳業メーカーの買入れ乳量の削減に対する対処方針と消費拡大策
- ⑥ 韓国漁船問題に関し、知事の訪韓の成果、漁具被害の補償に対する見解、オッターロール禁止ラインからの韓国漁船排除の見通しと不可能な場合の対策
- ⑦ 防衛問題に関し、ソ連の北方領土における軍事基地増強等に伴う北方の脅威についての所感、自衛隊の基地設置、大部隊の移動等について防衛庁との関係緊密化による道民への情報公開と道民不安の排除方
- ⑧ 教育問題に関し、教育長期計画と関連する財政計画提示の考え、後期実施計画の策定の手順と道民合意の形成についての考え方、前期実施計画において目標を大幅に下回った事業の原因分析と今後の取り組み方、高等学校の適正配置計画における収容率の修正と地域別算定資料の公表に対する見解、障害児の高

等部設置計画、総合選抜制導入についての取り組み状況と今後の見通し、私学進学率の目標と生徒減少対策、私立高校に対する助成率向上についての考え方

- ⑨ 暴力団対策に関し、広域暴力団の本道進出阻止対策、道内暴力団の対立抗争の要因と未然防止措置方針、暴力団犯罪の実態と対策、道内暴力団の推移と組織拡大防止対策について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時15分休憩、午後2時3分再開。舟山広治議員（社会）から再質問、知事から答弁調整のため時間を要する旨の発言があって午後2時42分休憩、午後4時48分再開。あらかじめ会議時間を延長し、知事及び教育長から休憩前の舟山議員の再質問に対する答弁があって、午後5時27分延会。

○7月5日（土） 午前10時24分開議、諸般の報告（農地開発委員の厚生委員への所属変更の申し出、総合開発調査特別委員、石炭対策特別委員及び北方領土対策特別委員の辞任許可など）の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、代表質問を継続、

舟山広治議員（社会）から再再質問、知事から答弁調整のため時間を要する旨の発言があって、午前10時45分休憩、午後2時24分再開。知事から休憩前の舟山議員の再再質問に対する補足答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、舟山議員から意見があって、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止。ついで、日程に追加し、常任委員の委員会所属変更の件を議題とすることををはかり、異議なく決定の後、

追加日程 常任委員の委員会所属変更の件を議題とし、宮本義勝農地開発委員（自民）を厚生委員に所属変更することに異議なく決定。ついで、日程に追加し、特別委員補欠選任の件を議題とすることををはかり、異議なく決定の後、

追加日程 特別委員補欠選任の件を議題とし、田刈子政太郎議員（自民）を北方領土対策特別委員に、新沼浩議員（自民）を決算特別委員に、佐々木利昭議員（自民）を総合開発調査特別委員に、若狹靖議員（自民）を石炭対策特

別委員に、水沼徳一郎議員（自民）を北方領土対策特別委員にそれぞれ補欠選任することに異議なく決定の後、日程第1の議事を継続、

笹浪 幸男議員（自民）から、

- ① 経済動向と道政の対応に関し、本道経済の現状認識、経済指標達成のための基本姿勢、本道経済体質の改善、財政投資の確保見直し、発展計画の目標達成に対する知事の決意
- ② 物価問題に関し、本道における物価動向と物価対策に取り組む姿勢、地域間の価格差の解消策、生活必需物資等の本州との価格差の現状と解消策
- ③ 行財政問題に関し、行財政の見直しの視点と手法の確立、見直しに当たっての道民意見の尊重方、市町村等への権限移譲についての進捗状況
- ④ 農業問題に関し、本道稲作のあるべき姿と北海道農業検討会の基本方向に対する見解、道産米の自主流通についての対処方針、乳製品の在庫解消など需給安定に対する国への働きかけ、チーズの国産振興に対する取り組み
- ⑤ 韓国漁船問題に関し、本問題解決についての基本姿勢、知事訪韓の成果、日韓両国政府間交渉の結果によって漁業水域法の適用、漁業資源の確保、漁業管轄権の確立及び国内規制の遵守等に障害が出ることの懸念と知事の基本的な対応姿勢
- ⑥ 中小企業対策に関し、最近の金融情勢と中小企業への影響及び道の対処策、信用保証協会の保証実績と中小企業に対する保証取り扱いの拡大についての指導方
- ⑦ 青函トンネル活用に関し、新幹線の完成見直しと在来線の同時開通に向けての努力方
- ⑧ 石油コンビナート地区の災害防止対策に関し、関係市町村の防災施設等の整備促進に対する財政措置、住民の避難場所の確保と施設整備に対する財政措置
- ⑨ 北方圏交流の推進に関し、本道とカナダ・アルバータ州との姉妹提携の所信と交流促進のあり方、外務省職員の道への派遣について早期実現方
- ⑩ 教育問題に関し、小中学校の教育課程の編成、実施上の不適正な状況把握と改善に対する取り組み、教育長期総合計画後期実施計画

の策定日程の概要、事務事業の見直しと高等学校整備に対する取り組み方針

- ⑪ 暴力団対策としての覚せい剤取り締まりの強化について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。ついで、議案調査のため7月7日は休会することに決定して、直ちに延会。

○7月8日（火） 午前10時9分開議、諸般の報告の後、

日程第1 意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第2 陳情第52号及び第53号を議題とし、委員会付託を省略のうえ、異議なくいずれも採択と決定。次に、

日程第3 報告第44号ないし第50号を議題とし、知事から提案説明の後、日程第3にあわせ

日程第4 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、代表質問を継続、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 行政改革の推進と事務事業の見直しに関し、今回の事務事業の見直しの基本的な考え方、見直し作業を進めるに当たっての道民意向の反映方法、今回の見直しにおける福祉の位置づけ、福祉に係る新税導入に対する所見
- ② 物価問題に関し、今後の物価抑制対策、物価に対する消費者啓発についての取り組み状況と今後の対策
- ③ 中小企業対策に関し、倒産防止特別相談室の増設に対する考え方、倒産関連資金等の融資枠の拡大、零細小規模企業向け小口特別資金の利用状況、中小建設業者に対する公共事業の受注機会の確保、経営の健全化と育成等の長期的対策
- ④ 障害者福祉対策に関し、国際障害者年の関連事業、施策の企画検討に当たって道民各層の意見聴取方、障害者福祉都市推進事業の拡充に対する見解
- ⑤ 農業問題に関し、牛乳、乳製品の需給見直し、乳製品の輸入規制についての国への働きかけ方、地熱利用による野菜生産の事業化のための方策

- ⑥ スポーツ振興策に関し、64年完全国体に向けてのジュニア層の育成強化策、各種スポーツ施設の整備計画及び学校体育施設の開放についての現状と今後の取り組み方、スポーツ指導者の養成確保、道民のスポーツ意識の啓発に対する取り組みについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。柳谷正一議員（公明）から再質問、知事から答弁。ついで、

石川 十四夫議員（道政）から、

- ① 韓国漁船の操業問題に関し、本問題の抜本的解決に向けての努力方、日韓両国政府間交渉に伴う知事の基本的な対応姿勢と本道漁業者救済についての国への働きかけ
- ② 農業問題に関し、本道農業の位置づけと発展方策の早期明確化、ホテル・旅館における牛乳提供の普及及び夏休み期間中における小中学生への牛乳供給に対する見解、高等学校における牛乳自動販売機の設置促進についての取り組み
- ③ エネルギー対策に関し、石炭の生産及び労働力の確保についての国への働きかけと道独自の取り組み、海外炭導入の推進と苫東コールセンター計画等への対処の仕方、液化天然ガス、海外炭の導入先選定のあり方、液化天然ガスの道内における需要見通しと受け入れ体制、共和・泊原発の電源開発調整審議会への上程見通しと現在の調査状況、灯油の需給見通しと暖房用燃料の多角化の推進
- ④ 行財政改革に関し、財政状況の受けとめ方と今後の道財政運営及び市町村に対する指導助言のあり方、道職員の給与制度の問題点と今後の取扱い、事務事業の見直しについての知事の決意
- ⑤ 北方領土問題に関し、ソ連の軍事基地増強に対する見解、領土返還に臨む知事の決意、国際的返還運動の展開について国へ要請方、「北方領土の日」の制定に対する基本的見解
- ⑥ 精薄児教育に関し、精薄児の養護学校高等部への進学状況と高等部教育の推進方策について

質問があり、知事及び教育長から答弁があって代表質問を終結。議事進行の都合により、午後零時5分休憩、午後1時21分再開。ついで、一般質問に入り、

山口 真人議員（自民）から、

- ① 石狩湾新港地域の開発に関し、石狩湾海岸道路建設の着工見通し、小樽市要請の石狩湾新港地域用地の工業用地への転換についての検討方向と今後の対応、流通地区内新設道路の道道格づけによる整備方、石狩開発株式会社の経営実態と金利負担の軽減対策

- ② 教育問題に関し、小樽市の教育課程の編成、実施状況についての市教委の報告内容と道教委の把握実態、報告と実態との相違についての事実関係と対処策、補助教材についての小樽市教委の把握状況、新教育課程の編成、実施に対する道教委の指導措置状況と未改善校に対する今後の措置方針、小樽市の小中学校における校務処理執行体制上の問題点と指導改善策、北教組小樽市支部の大会等出席に係る教職員のサービスの取り扱い、組合文書の児童生徒への配付行為に対する見解と措置について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

吉野 之雄議員（社会）から、

- ① 農業問題に関し、本道農業の位置づけに対する国への働きかけ方、第2期水田利用再編対策、北海道農業検討会の経過と今後の展望、転作奨励金の今後の見通し、道産米の自主流通による食糧制度、米の需給均衡への影響と販路拡大策としての当否、道内における道産米の消費拡大方策、生産性の向上を農業振興の基本とすることの懸念、生産性の高い農業経営の具体的内容、農業振興に関連する地域の社会経済問題についての取り組み
- ② 韓国漁船問題に関し、日本海海域の漁場資源の確保についての知事の決意、韓国漁船の操業に伴う資源培養管理型漁業推進への影響と今回の日韓両国政府間交渉に当たっての国への要請内容、韓国漁船の取り締まり、監視体制のあり方と国への働きかけ方
- ③ 事務事業の見直しに関し、見直しの全体構想と今後の作業の進め方、今回の見通しの意義、各種計画の進行管理、進捗掌握の目的と公表についての所見、見直しにおける事務事業の判定主体と基準について

質問があり、知事から答弁。吉野之雄議員（社会）から再質問、知事から答弁。ついで、

吉川 貴盛議員（自民）から、

① 国体誘致に関し、第44回国民体育大会準備事業の現況、道立運動公園を国体メイン会場として使用する考え、運動公園の設置場所の決定時期と完成目途、競技開催市町村選定の基準と決定の時期、競技施設整備に係る市町村への財政援助策

② 教育問題に関し、総合選抜制の導入時期、56年度の入学者選抜方法、小中学校における牛乳給食の推進、土曜日における学校給食の実施状況と問題点、土曜日の牛乳給食の推進方策について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

波谷 澄夫議員（社会） から、

① 福祉行政に関し、第2期社会福祉長期計画における肢体不自由児施設の整備状況、新設の道立白樺学園の民間事業団への経営委託と道立社会福祉施設のとりえ方との関連、白樺学園に係る道の役割、旭川整肢学院の肢体不自由児総合療育センター化計画の遅延理由、肢体不自由児施設における外来部門の設置に対する考え方

② 医薬品卸売業者に対する実態調査の結果と処置及び今後の指導方針

③ 私立専修学校の指導に関し、54年第2回定例会において指摘した私立専修学校の募集広告、入学定員についての指導状況と改善内容、資格取得に係る同校・生徒間のトラブル発生の理由と道の指導内容

④ 農業問題に関し、食糧自給力強化に関する国会決議についての見解、国際紛争等による食糧輸入の減少が食糧の供給確保に及ぼす影響、国の食糧政策に対する見解、農政に対する取り組み姿勢、生産者米価引上げに対する積極的な取り組み方、道産農作物に対する価格差の導入についての見解、空知・上川地域の稲作農家の収入減に対する認識、転作飼料作物の生産利用体制の実態と転作農家の所得確保に対する取り組み、農業改良普及所の指導体制の強化、重要野菜需給調整特別事業の目的、野菜需給調整に関連する全国的協議会発足の背景と本道へ提示の生産出荷指標に対する見解及び配分についての強制力、道の作付指導通達に係る本道産野菜の自給率の考え方と協議会の目標配分との関係、食糧自給率

向上に取り組む知事の決意、80年代における食糧需給事情の展望等について

質問があり、知事から答弁。渋谷澄夫議員（社会）から再質問、知事から答弁。ついで、議案調査のため、7月9日は休会することに決定して、直ちに延会。

○7月10日（木） 午前10時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号、報告第1号ないし第21号及び第44号ないし第50号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

輪島 幸雄議員（社会） から、

① 道教育長計の後期実施計画に関連して、55年度高校進学率が目標値に達しなかった理由・原因、道発展計画が目指す高校進学率達成の見通し、今後における総合的対応策

② 私学問題に関し、中学生の進路意識実態調査と55年度公立高校適正配置計画のギャップに対する知事の所見、私立高校入学への意識と経費負担に対する道の基本的方策、低所得者に対する段階的対応策、公立志向の中にある私学振興策、進学率アップと教育課程終了の状況分析、私立高校の中途脱落者に対する教育長の見解及び対応策、今後の高校整備策

③ 水産問題に関し、水産加工業の振興発展に対する基本的な考え方、水試の重点集約化に対する考え方、函館水試加工部門の存続等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。輪島幸雄議員（社会）から再質問、知事及び教育長から答弁。輪島議員から再再質問、知事及び教育長から答弁。

米村 邦敏議員（社会） から、

① 林業問題に関し、林業構造改善事業と民有林振興並びに林産加工施設導入との関連、新改善事業と道発展計画並びに地域森林計画との関連

② 福祉問題に関し、言語障害幼児の現状認識、治療訓練施設の設置及び専門者の配置についての対応、手話通訳者設置事業の現状と対策、道身障者スポーツ大会についての知事の基本的姿勢、開催地市町村の財政負担、事故発生時の責任体制

③ 教育問題に関し、言語障害児教育に対する

教育長の基本的姿勢、特殊学級の実態と専門教員配置の考え方、教育長計と学級設置の取り組み、今後の障害生徒数の実態把握と後期実施計画での取り組み、障害児の二重学籍の改善、担当教員の配置状況と研修等について質問があり、知事及び教育長から答弁。米村邦敏議員（社会）から再質問、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後零時31分休憩、午後1時41分再開。ついで、

小田部 善治議員（道政）から、

- ① 漁業問題に関し、第6次漁港整備計画の整備状況と今後の整備策、内水面漁業の振興対策と試験研究・技術指導強化対策、サロマ湖栽培漁業の調査と指導についての考え方、漁業後継者の育成・確保と実践的研修施設の整備策
- ② 老人福祉問題に関し、老人福祉対策推進委員会の運営状況と学識経験者からの意見の求め方、老人保健医療総合開発事業の拡大策、老人福祉施設利用の現状と今後の展望、老人クラブの育成等生きがい対策振興助成事業の拡充強化策、就労センターの設置状況と今後の取り組み、保養施設の設置等について質問があり、知事から答弁。

岡本 栄太郎議員（社会）から、

- ① 医療行政に関し、地域医療の改善策、地域医療格差改善の具体策、医師の地域格差是正、地域センター病院の充実整備の具体策、国の老人医療の一部有料化の動きに対する対策、国保財政の健全運営
- ② 農業問題に関し、危機に直面している本道農業の原因、農業経営の安定、輸入政策、振興方策、道農業検討会の見直し、第2期水田利用再編対策、道産米の特性、55年産麦価への考え方、麦価の地域格差、農家負債対策等について

質問があり、知事から答弁。岡本栄太郎議員（社会）から再質問、議事進行の都合により、午後3時24分休憩、午後4時24分再開、知事から休憩前の岡本議員の再質問に対する答弁の後、あらかじめ会議時間を延長のうえ、岡本議員から再再質問、知事から答弁があって、午後4時50分延会。

○7月11日（金） 午前10時16分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号、報告第1号ないし第21号及び第44号ないし第50号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

橋 浪蔵議員（道政）から、

- ① 青少年の健全育成に関し、知事の基本的な考え方と具体的な推進策、青少年の非行防止対策の取り組み方、三歳児健診の強化、障害幼児の保育事業の充実及び精薄児母子訓練事業のブロック別配置についての見解、心身障害者の通勤寮、家庭寮の確保と道費補助等の措置、心身障害者保養センター設置についての所見
- ② 教育問題に関し、人確法実施による教職員給与と改善の効果、給与と改善による教育の効果、給与の改善と適正化の取り組み方、主任手当の実施の状況と今後の対処、主任手当未支給の早急な解決と支給範囲拡大の早急な実施、教育課程など教育内容の正常化等に対する指導方針
- ③ 苫東開発に関し、苫東第2段階計画の企業立地想定業種の誘致の進捗状況と今後の見通し、企業進出の具体化に伴う港湾・工業用水・上水道計画・国鉄・国道の移設等基盤整備の的確な対応方、進出企業に対する企業投資減税等についての考えと今後の進め方及び道独自の施策の有無、苫東第三セクターの経営の実態、経営見通し及びその対策、基幹工業の石油燃料から石炭への転換に伴う設備投資の増嵩に対する対応策、エネルギー博の開催の時期、規模等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。

工藤 啓二議員（公明）から、

- ① 林業問題に関し、森林資源に関する基本計画改定の受けとめ方と本道林業への影響、道の地域森林計画策定の基本的な考え方
- ② エネルギー問題に関し、石炭需給の不均衡に対する見解、国内炭の需給見通し、新石炭政策と2,000万トン体制の確保及び新鉱開発についての見解、海外炭の受入れ時期と受入れ港、原子力発電の安全審査体制について国へ提言する考え、原子力発電推進に当たっての住民の合意取得の具体策、原子力発電に係る地域防災計画策定の検討状況と時期
- ③ 婦人対策に関し、道の審議会等への婦人登

用の取り組み方と婦人行動計画の市町村等への趣旨徹底の実態、公務員・企業従事者の婦人登用の促進、道の女子職員の採用状況と女性の管理職への登用に対する考え方、知事の公約と道の発展計画との関連における道立婦人会館の建設の見通し、地域婦人会館の今後の建設要請に対する対応姿勢

- ④ 暴走族対策に関し、道内における暴走族の実態と取締り状況及び今後の諸対策と道民総ぐるみ運動推進の必要性、暴走族問題に対する知事の所見について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。工藤啓二議員（公明）から再質問、知事から答弁。議事進行の都合により、午後零時14分休憩、午後1時32分再開。ついで、

本間 喜代人議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、選挙違反業者の入札の指名理由と業者選定に対する基本的な考え方、住民訴訟との関連における小樽臨港線の都市計画変更手続に対する考え方と今後の進め方、待命大使派遣要請の法的根拠と地方公共団体の自治権との関連
- ② 道民生活に係る諸問題に関し、石油各社の便上値上げの実態と円高差益等の還元についての指導方、石油関連業者の経常利益に対する知事の見解、福祉施設の採暖費の引き上げと年金生活者に対する燃料費冬季加算の制度化に対する考え方
- ③ 国際障害者年に関し、国際障害者年道内行動計画の策定と障害者参加による計画策定審議会設置の考え、身障者の雇用率遵守に対する企業への指導、最低賃金制の適用及び重度障害者の保護雇用制度の創設等について国への要請方、障害者のための議会庁舎の改善に対する考え方、公共施設の利用料金の減免促進、障害者向け公営住宅の整備と家賃の改善、精神障害者社会復帰センターの設立と社会復帰学級の増設、精神障害者福祉法制定の促進、脳性麻痺、T B G欠損症の早期発見体制、衛生大学開校の見通し、ホテル等におけるマッサージ師からの高額リポート徴収の是正と関係業界への指導、障害年金のP Rの徹底による受給の促進
- ④ 農業問題に関し、第二期減反に対する知事の反対決意の表明方、北海道農業検討会の論

議に対する知事の見解、転作条件の整備と試験研究体制の強化、品質間格差による激変緩和措置の継続の見通しと考へ

- ⑤ 日高中央横断開発道路計画に関し、国定公園の指定と道道認定との関連及び道民・関係団体との話し合いの必要性、道路建設の必要性と緊急性、知事が進めているアセスメントの十分性と今後の対応
- ⑥ 教育問題に関し、40人学級の問題について国の計画の受けとめ方、国への早期実施についての要請方及び長計後期計画への位置づけ、中学校の内申書問題についてその対処方と今後の対策、養護学校のP T会費の流用問題の実態把握と指導内容
- ⑦ 警察問題に関し、札幌中部民主商工会に対する公選法違反に係る捜査のあり方、道警庁舎の記者クラブへの通行拒否と民主的警察行政、言論の自由及び取材活動の自由との関連、記者クラブ運営の自主性の尊重、特定政党名の現金入り封筒事件の捜査の状況について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。本間喜代人議員（共産）から再質問、知事、警察本部長から答弁。本間議員（共産）から再再質問、警察本部長から答弁があって質疑並びに一般質問を終結。ついで、

保格博夫議員（社会）から、予算及び企業会計決算に関する案件について、予算特別委員会は31人、企業会計決算特別委員会は19人の委員をもって構成する特別委員会を設置し、議案第1号、報告第1号及び第2号は予算特別委員会に、報告第44号ないし第50号は企業会計決算特別委員会に付託されたいとの動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく決定、動議にかかわる各案件は、予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会に付託、次の委員を議長指名（配付名簿のとおり）により選任、議案第11号は総合開発調査特別委員会に、残余の案件は、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

小田原要四蔵（社会）	樫林 巖（社会）
神本 三也（社会）	高橋 康之（自民）
小田部善治（道政）	木下 一見（道政）
橋 浪蔵（道政）	中川 義雄（自民）

松本 勇（自民）	水岡 薫（自民）
青山 正男（自民）	長岡 寅雄（社会）
工藤 啓二（公明）	川崎 守（共産）
岩崎 守男（社会）	渋谷 澄夫（社会）
川口 常人（自民）	佐々木利昭（自民）
佐藤 静雄（自民）	寺崎 政朝（自民）
新沼 浩（自民）	米田 忠雄（自民）
大平 秀雄（自民）	小沢 栄吉（自民）
吉田 英治（社会）	池島 信吉（社会）
熊谷 克治（社会）	水沼徳一郎（自民）
村上 彝明（自民）	東 典俊（自民）
高橋正四郎（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

小田原要四蔵（社会）	木本 由孝（自民）
佐々木行雄（自民）	小田部善治（道政）
橋 浪蔵（道政）	吉川 貴盛（自民）
伊藤 武一（公明）	米村 邦敏（社会）
岩田 徳弥（自民）	中崎 昭一（自民）
平野 明彦（自民）	和田 勝之（自民）
宇野 真平（自民）	武部 勤（自民）
鈴木 誠二（社会）	吉田 英治（社会）
藤井 虎雄（社会）	若狭 靖（自民）
作田 政次（自民）	

次に、各委員会付託議案審査のため、7月12日から7月16日まで5日間休会し、7月17日再開することに決定して、午後3時39分散会。

○7月17日（木） 午後4時17分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を7月18日まで1日間延長することに決定して、午後4時19分散会。

○7月18日（金） 午後3時58分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後3時59分休憩、午後10時43分再開、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、渋谷澄夫予算特別委員長（社会）から議案第1号、報告第1号及び第2号について、伊藤知則総務委員長（自民）から議案第2号ないし第5号、第10号、第20号、報告第3号、第4号及び第20号について、宇野真平厚生委員長（自民）から議案第6号及び第21号について、池島信吉商工労働委員

長（社会）から議案第7号について、熊谷克治文教財務委員長（社会）から議案第8号、第9号、第16号ないし第18号、報告第5号ないし第19号及び第21号について、作田政次総合開発調査特別委員長（自民）から議案第11号について、伊藤豪建設副委員長（道政）から議案第12号ないし第15号及び第19号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、直ちに討論に入り、本間喜代人議員（共産）から議案第1号、第4号、第20号及び報告第3号に関する反対討論があって討論終結。

ついで、採決に入り、まず、議案第1号、第20号及び報告第3号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決または承認議決。次に、議案第4号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第2号、第3号、第5号ないし第19号、第21号、報告第1号、第2号及び第4号ないし第21号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決または承認議決。ついで

日程第2 議案第23号ないし第27号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略のうえ、まず、議案第23号、第24号及び第27号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決または原案可決。次に、議案第25号及び第26号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。

日程第3 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。ついで、

日程第4 意見案第3号ないし第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。ついで、

日程第5 意見案第6号を議題とし、舟山広治議員（社会）から提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、採決に入り、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもって否決。

次に、閉会中報告第44号ないし第50号及び前会より継続審査中の報告第1号継続審査の件を議題とし、異議なく企業会計決算特別委員長及び決算特別委員長から申し出のとおり閉会中継

続審査に付することに決定。次に、閉会申請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第44ないし第50号及び前会より継続審査中の報告第1号を除き、すべて議了。西尾六七議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後11時18分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、7月11日設置され、昭和55年度一般会計補正予算並びにこれに関連する議案3件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、分科正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に岩崎守男君、副委員長に松本勇君、第2分科会は、委員長に佐藤静雄君、副委員長に長岡寅雄君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、12日から各部所管の審査に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託された案件は、当初予算編成時に見込み得なかった経費で当面必要とする経費について所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計4億9,800万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会に

おいて質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その質疑の主なものを申し上げます。

北海道商工会連合会に対する指導監督のあり方、道への外務公務員の派遣問題、北市の再建問題などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、報告第1号及び第2号は、承認議決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 28	1	昭和55年度北海道一般会計補正予算（第3号）	予算特別	7. 18	原案可決
同	2	過疎地域における道税の課税の特例に関する条例案	総 務	同	同
同	3	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	4	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	5	農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	6	北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	7	北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	8	北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	9	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	10	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	11	美利河ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	総合開発 調査特別	同	同
同	12	工事請負契約の締結（石狩川流域下水道管きょ新設（8工区）工事）に関する件	建 設	同	同
同	13	工事請負契約の締結（石狩川流域下水道砂川汚水中継ポンプ場躯体工事）に関する件	同	同	同
同	14	工事請負契約の締結（石狩川流域下水道奈井江浄化センター沈砂汚泥棟土木工事その1）に関する件	同	同	同
同	15	工事請負契約の締結（十勝川流域下水道浄化センター第2沈砂池棟建設工事）に関する件	同	同	同
同	16	工事請負契約の締結（北海道旭川工業高等学校改築工事）に関する件	文教林務	同	同
同	17	工事請負契約の締結（北海道伊達高等養護学校寄宿舎新築工事）に関する件	同	同	同
同	18	工事請負契約の締結（北海道伊達高等養護学校新築工事）に関する件	同	同	同
同	19	工事請負契約の変更〔工事請負契約の締結（昭和52年4月4日議決を経た議案第17号に係るもの）に関する件	建 設	同	同
同	20	財産の取得（苫小牧東部工業基地用地）に関する件	総 務	同	同
同	21	財産の取得（物品、全身用コンピュータ断層撮影装置一式）に関する件	厚 生	同	同
同	22	北海道副知事の選任につき同意を求める件		6. 28	同意議決
7. 18	23	北海道出納長の選任につき同意を求める件		7. 18	同
同	24	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	25	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	26	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	27	特別職職員の退職手当の額を定める件		同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 28	1	専決処分報告につき承認を求める件（昭和55年度北海道一般会計補正予算（第1号）5月20日専決処分）	予算特別	7. 18	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（昭和55年度北海道一般会計補正予算（第2号）6月13日専決処分）	同	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例3月31日専決処分）	総 務	同	同
同	4	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道十勝支庁庁舎改築第二期工事）5月20日専決処分）	同	同	同
同	5	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道札幌東高等学校改築第二期工事）5月19日専決処分）	文教林務	同	同
同	6	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川盲学校改築工事）5月19日専決処分）	同	同	同
同	7	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道小樽潮陵高等学校改築第二期工事）5月19日専決処分）	同	同	同
同	8	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道砂川南高等学校改築第二期工事）5月19日専決処分）	同	同	同
同	9	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道浦河高等学校改築第二期工事）5月19日専決処分）	同	同	同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道小樽工業高等学校改築工事）5月19日専決処分）	同	同	同
同	11	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川聾学校改築工事）5月19日専決処分）	同	同	同
同	12	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道岩見沢高等養護学校新築工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	13	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道函館聾学校改築工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	14	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道釧路聾学校改築工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	15	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道岩見沢高等養護学校寄宿舎新築工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	16	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道室蘭工業高等学校改築第二期工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	17	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道高等聾学校増築工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	18	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川商業高等学校改築第二期工事）5月27日専決処分）	同	同	同
同	19	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（仮称）北海道立北見体育センター新築工事）5月31日専決処分）	同	同	同
同	20	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結に関する件（札幌運転免許試験場新築工事）5月31日専決処分）	総 務	同	同
同	21	専決処分報告につき承認を求める件（財産の取得に関する件（北海道青柳養護学校建設用地）5月31日専決処分）	文教林務	同	同
同	22	昭和54年度北海道緑越明許費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	23	昭和54年度北海道事故繰越し計算報告の件			同
同	24	昭和54年度北海道北広島閉地開発事業会計予算繰越計算書報告の件			同
同	25	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 28	26	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			報告のみ
同	27	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	28	社団法人北海道私立専修学校各種学校基金協会の経営状況に関する件			同
同	29	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	30	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	31	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	32	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	33	社団法人北海道産炭地域振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	34	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	35	財団法人北海道教育施設整備公社の経営状況に関する件			同
同	36	株式会社北海道生薬公社の経営状況に関する件			同
同	37	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	38	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	39	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	40	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	41	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	42	専決処分報告の件（村を町とする 処分に 伴う関係条例の 整備に関する条例、4月1日専決処分）			同
同	43	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定4月21日2件、4月22日3件、5月6日1件、5月8日3件、5月28日1件、6月16日1件、6月17日1件6月19日1件専決処分）			同
7. 8	44	昭和54年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	7. 18	継続審査
同	45	昭和54年度北海有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	46	昭和54年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	47	昭和54年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	48	昭和54年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	49	昭和54年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	50	昭和54年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	51	昭和54年度北海道工業用水道事業会計継続費精算報告の件			報告のみ

第2回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
7. 18	1	北海道とカナダ・アルバータ州との友好親善促進に関する決議	伊藤知則君ほか103人	7. 18	原案可決

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
6. 28	1	昭和55年産生産者米価等に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	6. 28	原案可決
7. 8	2	国内石炭鉱業安定のための要望意見書	工藤万砂美君ほか14人	7. 8	同
7. 18	3	家庭用灯油の価格の抑制に関する要望意見書	池島信吉君ほか12人	7. 18	同
同	4	第2期水田利用再編対策に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	同	同
同	5	有珠山周辺地域における地盤変動災害に関する要望意見書	高橋賢一君ほか26人	同	同
同	6	金大中氏の即時釈放を求める要望意見書	舟山広治君ほか35人	同	否 決

前会から継続審査中の案件

議 案

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 26	70	北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案	総 務	6. 28	修正議決

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
54.12.11	1	昭和53年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	7. 18	継続審査

決 議 案

決議案第1号

(伊藤知則君ほか103人提出)
7月18日 原案可決

北海道とカナダ・アルバータ州との友好親善促進に関する決議

本道とカナダ・アルバータ州は、気候、風土が類似し、近年、芸術文化、スポーツ、産業経済などの各分野で交流が進められてきており、両地域の姉妹提携は、相互の発展にとって極めて意義深いものがある。

よって、本議会は、この姉妹提携を契機として、今後、道民の深い理解と協力のもとに、本道とアルバータ州との間に、より一層の交流と友好親善が深められ、このことによって、両地域の繁栄はもとより、北方圏諸地域の発展に寄与し、ひいては国際親善と世界平和に貢献することを期待するものである。

右決議する。

昭和 年 月 日

北海道議会

意 見 案

意見案第1号

(武部勤君ほか12人提出)
6月28日 原案可決

昭和55年産生産者米価等に関する要望意見書

本道農業は、恵まれた土地資源を背景に着実な発展を続け、国民食糧の安定的な供給に重要な役割りを果たしている。

しかしながら、本道農業をめぐる情勢は、近年、一段と厳しさを増し、特に、基幹部門である稲作については、生産者米価が2年連続据え置かれ、加えて、水田利用再編対策の実施によって、水田面積の44パーセントにも及ぶ転作を余儀なくされるなど極めて困難な状況のもとに置かれている。

稲作農家は、これらの困難な事態に耐えつつ、良質米の生産に全力をあげて努力しているが、最近における生産資材・労賃等の著しい値上りは、農家の経営を一層苦しいものとしているので、国におかれても、このような厳しい実態を十分配慮され、当面する生産者米価等について、次により決定されるよう強く要望する。

記

1. 昭和55年産米政府買入れ価格については、稲作農家の経営実態を十分勘案するとともに、物価・賃金の動向を反映した所得の補償と再生産が確保できる米価19,769円とすること。
2. 昭和54年度において、品質格差導入に伴い講ぜられた激変緩和措置について、これを打ち切るとは、農家経済に与える影響が大きいので、これを継続すること。
3. 食糧管理制度を堅持すること。
4. 米の消費拡大対策を一層拡充強化することともに、道産米の流通拡大に関する適切な助成措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第2号

(工藤万砂美君ほか14人提出)
7月8日 原案可決

国内石炭鉱業安定のための要望意見書

最近におけるエネルギー情勢は、一連の国際会議・機関等の動向にみられるとおり、益益厳しさを加えつつあり、国際的にもエネルギー需給に占める石炭の重要性が一段と高まってきている。

このような情勢下において、貴重な国産資源である石炭の安定的確保は、将来にわたって国民的な課題とされているが、わが国の石炭産業は、需要の増加はみられるものの、依然として生産が停滞し、経営収支の改善が図られていない現状である。

従って、国においては、まず、国内における石炭生産が安定かつ、拡大の方向で確保され、経営の基盤が確立されるよう、石炭政策の抜本的な見直しを行うとともに、つぎの事項について、特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 国内炭の位置づけについて

当面、すみやかに2千万トン体制を確立するとともに将来に向けてその拡大を図られたい。

2. 現有炭鉱の経営安定対策について

生産、保安確保のための各種助成措置を拡充強化するとともに、生産費を補償できる炭価決定(一般炭・5,000キロカロリー北海道電力向12,300円/トン)について早急に対処されたい。

3. 労働力の確保について

今後の生産維持に重大な影響を及ぼす労働力確保について早急に対策を講ぜられたい。

4. 石炭鉱業年金の改善について

労働力の確保並びに定着を図るため、坑内作業従事者すべてを石炭鉱業年金の対象とされるよう石炭鉱業年金制度の拡充強化を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、通商産業大臣 } 各通
労働大臣、北海道開発庁長官 }

意見案第3号

(池島信吉君ほか12人提出)
7月18日 原案可決

家庭用灯油の価格の抑制に関する要望意見書

最近の我が国のエネルギー情勢は一段と厳しさを増している。

こうしたなかで、昨年来の原油価格の相次ぐ引き上げに伴って、石油製品の価格が著しく上昇し、国民生活や産業活動に深刻な影響を与えていることから、この価格の安定は、国民的要請となっている。

特に、積雪寒冷の中で半年を暮らす北海道民にとって、家庭用灯油は、生活必需品として一般家庭の約9割が暖房用燃料として使用しており、直ちに他の燃料に転換することが困難な実情にある。

従って、この供給量の確保はもとより他の油種にもまして価格の抑制を図ることが道民生活を守る見地から是非とも必要である。

よって、本道の実情を十分勘案し、道民負担の軽減を図る上からも左記の事項について、特段の政策的配慮を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 家庭用灯油の価格をできるだけ低い水準に抑制するよう元売仕切価格に指導価格を設定するなど政策的な配慮を行うこと。
2. また、供給量の確保について、現状では安定的に推移しているが、今需要期における必要量の確保に特別な配慮を行うこと。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、通商産業大臣 } 各通
経済企画庁長官

意見案第4号

(武部勤君ほか12人提出)
7月18日 原案可決

第2期水田利用再編対策に関する要望意見書

本道農業は、恵まれた土地資源を背景に発展を続け、国民食糧の安定的な供給基地として重要な役割りを果たしてきた。

しかしながら、本道農業の基幹である稲作は、全国の21%にも及び、本道水田面積の44%にも達する過大な転作目標面積の配分により、稲作農家は深刻な影響を受けている。

国は、将来にわたって本道農業の重要性を十分配慮し、農業経営の安定が図られるよう次の事項について強く要望する。

記

1. 本道稲作を重視した本道農業の位置づけと発展方策を明確とすること。
2. 第2期水田利用再編対策に係る目標面積の配分に当たっては、本道に対して著しい過重になっているこれまでの傾斜配分を是正すること。
3. 転作農家の経営の安定を図るための対策を抜本的に拡充強化すること。
4. 米を基本とした食生活の確立を図るため、米消費改善啓蒙宣伝対策の強化、米飯給食の拡充など、米の消費拡大対策を一層強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣

有珠山周辺地域における地盤変動災害に関する要望意見書

有珠山周辺地域は、昭和52年8月7日以降たび重なる噴火と地殻変動、さらには、一昨年10月の大規模な泥流災害等により甚大な被害を受けたところである。

道は、これら災害復旧のための諸事業を関係機関の協力のもとに総力を挙げて実施してきたが、最近に至って地盤変動の影響が虻田町洞爺湖温泉街並びに壮瞥町壮瞥温泉街の一部地区に顕著にあらわれ、一般住家その他建築物及び施設等に大きな被害を与えている。

これらの地盤変動による被害は、長期間にわたり徐徐に進行している有珠山活動に起因する特殊な災害によるものであり、地域住民の不安を解消するためには、さらに、地盤変動被害の救済対策を早急に実施する必要がある。

よって、国においては、火山活動がなお続いている中での特殊な災害であることにかんがみ、次の事項について、早急に所要の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

地盤変動被害に対する救済について

1. 活動火山対策特別措置法を改正し、次の地盤変動対策事業に対する大幅な国庫助成措置を講ぜられたい。
 - (1) 地盤変動が特に著しく住宅建設が不適当な地域の土地家屋の買い上げ並びにその跡地の緩衝緑地等への造成
 - (2) 被災地域内公共施設の全面改築
2. 個人住家被害に対する救済制度の拡充強化のため、災害復興住宅資金の融資額の増額、償還期間・据置期間の延長及び利率の引き下げ等の条件緩和措置を講ぜられたい。
3. 地盤変動によって地籍図と現況が相違し、公共事業の施行及び住民の土地利用等の支障を来している現状にかんがみ、地籍調査事業の再実施を認められたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、建設大臣 } 各通
北海道開発庁長官、国土庁長官

金大中氏の即時釈放を求める要望意見書

金大中氏は、5月の「光州事件」の背後操縦首謀の疑いがあるとして逮捕され近く軍法会議にかけられようとしている。

日本政府は、このような韓国の軍事独裁支配体制がアジアにおける諸国間の友好共存に暗い影を落すことを、外交を通じて懸念表明するとともに、金大中氏のら致事件に対するわが国政府の責任をまっとうするためにも、各国にさきがけ、金大中氏の生命の安全、政治活動の自由保障のため、韓国政府に対し同氏の即時釈放を申し入れるべきである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 結 果
69	道営住宅の敷金還付に関する件	滝川市滝の川町西3丁目5の13 別役 正義	建 設	継続審査
70	道道上風連中西別線の舗装促進に関する件	別海町中西別253の3 近藤 昭夫	同	同
71	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	旭川市5条通り12丁目左5号 奥村 一男	厚 生	同
72	同	同	総 務	同
73	同	同	建 設	同
74	小樽市最上町線道路拡幅に関する件	最上町線住民の生活を守る会 会長 橋本 政司	同	同
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	北海道民主商工団体連合会婦人 部協議会 部長 伊藤富久子	厚 生	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 結 果
31	根室馬鈴しょ原種農場存続の件	中標津農協馬鈴しょ振興対策協 議会 会長 篠永 静男	農 務	継続審査
32	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	札幌市豊平区羊ヶ丘1 前田 満		不採択
33	同	札幌市東区北34条東4丁目 小野 雅之		同
34	北海道立総合経済研究所の存続、拡充の件	旭川市忠和4条6丁目 山城 昇		同
35	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	深川市納内町10区の1 小野寺正己		同
36	同	深川市納内町10区の2 矢崎 俊治		同
37	同	札幌市白石区本郷通13丁目北6 の7 塩沢 照俊		同
38	同	札幌市北区北21条西4丁目 中原 豊司		同
39	同	札幌市中央区大通西22丁目 飯沢理一郎		同
40	同	札幌市豊平区平岸3条2丁目 玉 真之介		同
41	同	札幌市中央区大通西3丁目 北洋相互銀行従業員組合 中央執行委員長 石野 英美		同
42	同	山形県鶴岡市若葉町12-26 沢田 和博ほか4人		同
43	同	東京都中央区かちどき5-5-1 東海区水産研究所 研究員有志 代表者 清水 泰幸		同

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
44	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	江別市幸町26-7 桜井 豊		不採択
45	同	名寄市東1条北6丁目 名寄女子短期大学教職員組合 代表 木村 登茂		同
46	北海道立総合経済研究所の存続の件	江別市西野幌82 荒田 善之		同
47	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	埼玉県浦和市三室1068-4 山田 貢		同
48	同	京都府中京区西ノ京島ノ内町21 中川 勝雄		同
49	同	岩手県釜石市新浜町1丁目4番 21号 岩手県水産試験場研究職 協議会 代表 小松原 正		同
50	同	愛知県名古屋市中八事本町 101-2 中京大学商学部附属中小 企業研究所所長 楠 恭雄		同
51	同	岩手県盛岡市上山3丁目18の8 岡田 秀二		同
52	北海道石炭鉱業の長期安定に関する件	札幌市中央区大通西5丁目 日本石炭協会北海道支部 支部長 神谷 新		採 択
53	石炭対策に関する件	札幌市北区北11条西4丁目 日本炭鉱労働組合北海道地方本 部 執行委員長 相沢 秀雄		同

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審 査 結 果
46	北海道婦人相談所の縮小・移転・併置案の撤回並びに婦人相談所の充実強化に関する件	厚 生	議決不要
50	道立高校の授業料値上げ反対、父母負担軽減を求める件	文教林務	同
58	北海道立総合経済研究所の廃止提案撤回を求める件	総 務	不 採 択
62	道立婦人相談所の縮小・移転・併置案の撤回並びに婦人相談所の充実強化を求める件	厚 生	議決不要
63	道立婦人相談所の縮小併置案の撤回並びに現在地での存続を求める件	同	同
64	昭和55年度道立札幌医科大学、看護学校学費値上げ反対の件	総 務	同
65	同	厚 生	同
67	主任手当制度をやめ、その財源を教育条件等の整備に充当する件	文教林務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審 査 結 果
12	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件（外3件）	総 務	不 採 択
14	同	同	同
15	同	同	同
16	同（外4件）	同	同
17	同	同	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
18	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	総 務	不 採 択
21	北海道立総合経済研究所の存続の件	同	同
22	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	同	同
23	北海道立総合経済研究所の存続の件	同	同
24	北海道立総合経済研究所廃止案の再検討の件	同	同
25	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	同	同
27	同	同	同
30	同	同	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	総 務
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	同
24	登別市に警察署設置の件	同
59	網走支庁遠軽税務出張所廃止反対の件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
6	札幌市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	同
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難病対策確立の件	同
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	同
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
45	北海道立養護老人ホーム静和園の廃止案撤回と新築・充実を求める件	同
47	葉害スモン恒久対策に関する件	同
49	保育所幼児（3～5歳）に生牛乳給食実施のための道費補助に関する件	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	同
52	道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築、充実を求める件	同
53	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
56	道立増毛病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	厚 生
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、拡充を要求する件	同
61	道立内部障害者更生指導所の美唄市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
1	苫小牧市錦岡団地（道営住宅）の下水道整備に関する件	建 設
7	生活協同組合市民生協が提出した店舗建設の建築確認申請書の取扱いに関する件	同
38	精進川旧河川敷地の払い下げに関する件	同
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文教林務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
19	養護学校高等部間口増に関する件	同
21	道立普通高校建設に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
29	養護学校高等部早期開校の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	同
43	全日制普通課程公立高等学校新設に関する件	同
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策特別

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件	同
19	道立和光学園の廃止反対の件	同
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
29	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農 務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	同
13	同	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
6	道立高等学校（全日制普通科）の設置に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に近い公立高校の新設を求める件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○6月27日（金） 午後4時12分、議会運営委員会室において開議、午後4時19分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、元道議会議員後藤三男八氏（空知支庁選出、13期、6月19日）の逝去について報告。
- ② 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明の後、副知事選任案件について説明及び先議方の要請があり、明日の本会議において知事の提案説明の後、委員会付託を省略し、先議する扱いとすることに決定。
- ③ 委員長から、前会より継続審査中の「議案第70号北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案」について、本日の総務委員会において審査終了した旨報告の後、本件について明日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、総務委員会から審査結果報告のあった請願、陳情について、前会より継続審査中の議案第70号との関連により、明日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、閉会中に提出された請願、陳情のうち明日受理扱いとなる陳情20件について、明日の本会議で議決する議案第70号並びに審査結果報告のあった請願、陳情との関連から委員会付託を省略し、明日本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 議案調査のため、6月30日から7月3日まで休会することに決定。
- ⑦ 代表質問の通告は、7月2日正午までとすることを了承。
- ⑧ 一般質問について、順位は、従来の例により取り進めることとし、通告は、7月3日正午までとすることを了承。
- ⑨ 予算特別委員会について、構成は31人（自

民17人、社会9人、道政3人、公明1人、共産1人）とし、各分科委員の構成は各派間の調整によること、委員長、第1分科委員長及び第2分科副委員長は社会、副委員長、第2分科委員長及び第1分科副委員長は自民とすることに決定。ついで、企業会計決算特別委員会について、構成は19人（自民11人、社会5人、道政2人、公明1人）とし、委員長は社会、副委員長は自民とすることに決定。

- ⑩ 農務委員会において意見案の発議が予定されており、提出された場合は、明日の本会議に上程する扱いとすることを了承。
- ⑪ 明日の本会議の議事順序は、明日協議することとした。

○6月28日（土） 午前9時36分、議会運営委員会室において開議、午前11時26分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 諸般の都合により、午前9時36分休憩、午前11時21分再開。
- ② 意見案第1号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告

現議員の辞職許可報告
元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（6月28日から7月17日まで20日間）

日程第3 議案第1号ないし第22号、報告
第1号ないし第21号

提出議案に関する知事の説明

（日程第3のうち議案第22号について先議）

議案第22号 北海道副知事の選任につき同意を求める件

（議案第22号の委員会付託省略）

（採決）

- 1 議案第22号を原案のとおり同意することについて起立により採決

日程第4 前会より継続審査の議案第70号
日程第5 請願第58号、陳情第12号、第14号ないし第18号、第21号ないし第25号、第27号及び第30号
日程第6 陳情第32号ないし第51号

〔日程第4ないし日程第6を一括議題〕

- 1 日程第6の陳情第32号ないし第51号の委員会付託を省略することについて簡易採決
- 2 日程第5の請願第58号、陳情第12号、第14号ないし第18号、第21号ないし第25号、第27号及び第30号の委員長報告を省略することについて簡易採決
- 3 日程第4の前会より継続審査の議案第70号に関する報告
(総務委員長の報告)

(討論)

- 1 小田原要四蔵議員の前会より継続審査の議案第70号及び日程第5の請願、陳情審査結果の不採択に関する反対討論並びに日程第6の陳情を採択とすることに関する賛成討論
- 2 寺崎政朝議員の前会より継続審査の議案第70号及び日程第5の請願、陳情審査結果の不採択に関する賛成討論並びに日程第6の陳情を採択とすることに関する反対討論
- 3 本間喜代人議員の前会より継続審査の議案第70号及び日程第5の請願、陳情審査結果の不採択に関する反対討論並びに日程第6の陳情を採択とすることに関する賛成討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1 日程第4の前会より継続審査の議案第70号を問題とし、委員長報告(修正議決)のとおり決することについて起立により採決
(社会、公明、共産反対)
- 2 日程第5の請願第58号、陳情第12号、第14号ないし第18号、第21号ないし第25号、第27号及び第30号を問題とし、請願陳情審査報告書(いずれも採択)のとおり決することについて起立によ

り採決

(社会、公明、共産反対)

- 3 日程第6の陳情第32号ないし第51号を問題とし、いずれも採択することについて起立により採決
(自民、道政反対)

日程第7 意見案第1号

意見案第1号 昭和55年産生産者米価等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決
議案調査のための休会日の決定
(6月30日から7月3日まで)

○7月4日(金) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 代表質問の通告(4人)について報告の後、本日の代表質問は、1番舟山広治議員(社会)2番笹浪幸男議員(自民)の2人を行うこととし、明日は代表質問終了後、できれば一般質問に入ることとして取り進めることを異議なく了承。
- ② 一般質問の通告(14人)について報告、順位については、6月27日の委員会において協議したとおり従来の例により取り進めることに決定の後、通告変更について発言があり了承し、個人別順位を議事課長から説明のとおりとすることに異議なく決定。
- ③ 委員長から、一般質問の進め方について、5日1人、8日5人、9日4人、10日4人とすることををはかり異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号
質疑並びに一般質問(2人)

○7月5日（土） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 常任委員の委員会所属変更について、宮本義勝農地開発委員の厚生委員への所属変更の申し出について本日の本会議において申し出のとおり変更することに異議なく決定。
- ② 特別委員の補欠選任について、北村義和議員（自民）の辞職に伴う北方領土対策特別委員並びに決算特別委員の欠員について、自民党から推せん願うことを異議なく了承し、佐々木利昭委員（自民）から、北方領土対策特別委員に田辺子政太郎議員を、決算特別委員に新沼浩議員を補充する旨発言があって、本日の本会議において補欠選任することに異議なく決定。
- ③ 特別委員の辞任許可及び補欠選任について、田辺子政太郎総合開発調査特別委員（自民）、水沼徳一郎石炭対策特別委員（自民）及び若狭靖北方領土対策特別委員（自民）の委員辞任許可について報告の後、辞任に伴う委員補充について、自民党から推せん願うことを了承し、佐々木利昭委員（自民）から、総合開発調査特別委員に佐々木利昭議員を、石炭対策特別委員に若狭靖議員を、北方領土対策特別委員に水沼徳一郎議員を補充する旨発言があって、本日の本会議において補欠選任することに異議なく決定。
- ④ 一般質問の通告内容の変更について、各委員から申し出のとおり、異議なく了承。
- ⑤ 本日の代表質問は、4人行うことに決定。
- ⑥ 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ⑦ 予算及び企業会計決算特別委員名簿の提出について、7月8日午後1時までとすることとし、設置動議は、社会党から提出願うことを了承。
- ⑧ 日程の変更及び休会の決定について、議案調査のため、7月7日（月）は休会し、7月8日再開すること及び一般質問を行う予定の7月9日は、都合により休会することを異議なく決定の後、予算特別委員会審査準備のための休会となっている7月11日については、

改めて協議することを了承。

- ⑨ 一般質問の進め方について、委員長から、7月8日は5人行うことに取り進めたいので準備方願いたい旨発言。
- ⑩ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号

質疑並びに一般質問

（代表質問継続）

日程第1の議事中止

追加日程 常任委員の委員会所属変更の件
宮本義勝農地開発委員を申し出のとおり厚生委員に所属変更することについて簡易採決

追加日程 特別委員補欠選任の件

1 欠員中の北方領土対策特別委員に田辺子政太郎議員、決算特別委員に新沼浩議員をそれぞれ補欠選任することについて簡易採決

2 田辺子政太郎総合開発調査特別委員、水沼徳一郎石炭対策特別委員並びに若狭靖北方領土対策特別委員の委員辞任を許可したことに伴い、佐々木利昭議員を総合開発調査特別委員に、若狭靖議員を石炭対策特別委員に、水沼徳一郎議員を北方領土対策特別委員にそれぞれ補欠選任することについて簡易採決

日程第1の議事継続

代表質問（3人）

議案調査のための休会日の決定（7月7日）

○7月8日（火） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 議長から、故大平内閣総理大臣の葬儀参列のための上京（9日）について発言。

- ② 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ③ 意見案第2号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。
- ④ 一般質問の通告変更について了承。
- ⑤ 本日の本会議について、代表質問2人、一般質問5人の計7人であるが、進行状況により、協議の上、取り進めることに異議なく決定。
- ⑥ 中央折衝のため農務委員（5人）の上京について了承。
- ⑦ 本日の本会議は、次の順序により取り進めることに異議なく決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 意見案第2号

意見案第2号 国内石炭鉱業安定のための要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第2 陳情第52号及び第53号

（委員会付託省略）

（採決）

- 1 本件をいずれも採択することについて簡易採決

日程第3 報告第44号ないし第50号

追加提出議案に関する知事の説明

日程第3の報告第44号ないし第50号にあわせ

日程第4 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号

質疑並びに一般質問

（代表質問2人、一般質問5人）

議案調査のための休会日の決定（7月9日）

- ① 一般質問の通告の取り下げについて了承。
- ② 一般質問の今後の進め方について、本日は5人、明日は2人行うことに異議なく決定。
- ③ 本日の一般質問は、5人行うことに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第21号、報告第1号ないし第21号及び報告第44号ないし第50号

質疑並びに一般質問（5人）

○7月11日（金） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時41分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 本日の一般質問は、3人行うことに決定。
- ② 予算特別委員会分科委員の配分について報告。
- ③ 予算及び企業会計決算特別委員会委員の指名は、配付の名簿のとおり指名すること、設置動議は、保格博夫議員（社会）に提出願うことを了承。
- ④ 議案の各委員会付託並びに付託を行う場合の手續等の一部改正について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 各委員会付託議案審査のため、7月12日から7月16日まで休会し、7月17日再開することに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第21号、報告第1号ないし第21号及び第44号ないし第50号

質疑並びに一般質問（3人）

（質疑終結宣告）

○予算及び企業会計決算特別委員会設置

○予算及び企業会計決算特別委員の指名

○7月10日（木） 午前9時32分、議会運営委員会室において開議、午前9時35分散会
委員長 吉田 政一（自民）

○議案の特別委員会付託

- 1 議案第11号を総合開発調査特別委員会に付託することについて簡易採決

○残余の議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定

(7月12日から7月16日まで)

○7月17日(木) 午後1時5分、議会運営委員会室において開議、午後4時5分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 予算特別委員長から、付託議案の審議状況について報告、午後1時6分休憩、午後4時4分再開。
- ② 委員長から、予算特別委員会及び各委員会の審議状況について報告の後、会期を7月18日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、明7月18日1日間の会期延長を議決することをはかり、異議なく決定。
- ④ 出納長の任期満了に伴う本会議出席説明員について、副出納長とすることを了承。

○7月18日(金) 午後1時7分、議会運営委員会室において開議、午後10時28分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告、午後1時8分休憩、午後3時51分再開。
- ② 委員長から、取りあえず時間延長することをはかり、異議なく決定、午後3時52分休憩、午後10時17分再開。
- ③ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ④ 総務部長から、追加提出議案について説明。
- ⑤ 追加提出の議案第23号ないし第27号について、本日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。
- ⑥ 決議案第1号の取扱いについて、本日の本

会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。

- ⑦ 意見案第3号ないし第6号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。
- ⑧ 委員長から、企業会計決算特別委員会において審査中の「昭和54年度北海道各事業会計決算に関する件」及び決算特別委員会において審査中の前会より継続審査の「昭和53年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件」については、本日の委員会で継続審査の扱いとすることに決定した旨を報告。
- ⑨ 本日の本会議における配付資料の一部訂正について、事務局長説明のとおり了承。
- ⑩ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号
予算特別、総務、厚生、商工労働、文教林務、総合開発調査特別各委員長及び建設副委員長の報告

(討論)

- 1 本間喜代人議員の議案第1号、第4号、第20号及び報告第3号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1 議案第1号、第20号及び報告第3号を問題とし、委員長報告(議案はすべて可決、報告は承認議決)のとおり決することについて起立により採決
(社会、公明、共産反対)
- 2 議案第4号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決
(共産反対)
- 3 議案第2号、第3号、第5号ないし第19号、第21号及び報告第1号、第2号、第4号ないし第21号を問題とし、委員長報告(議案はすべて可決、報告はすべて承認議決)のとおり決することについて起立により採決

とについて簡易採決

日程第2 議案第23号ないし第27号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1 議案第23号、第24号及び第27号を問題とし、議案第23号及び第24号を原案のとおり同意、議案第27号を原案のとおり決することについて起立により採決 (共産反対)

2 議案第25号及び第26号を問題とし、本件をいずれも原案のとおり同意することについて簡易採決

日程第3 決議案第1号

決議案第1号 北海道とカナダ・アルバータ州との友好親善促進に関する決議

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 意見案第3号ないし第5号

意見案第3号 家庭用灯油の価格の抑制に関する要望意見書
意見案第4号 第2期水田利用再編対策に関する要望意見書
意見案第5号 有珠山周辺地域における地盤変動災害に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第5 意見案第6号

意見案第6号 金大中氏の即時釈放を求める要望意見書
舟山広治議員の意見案第6号に関する説明

(委員会付託省略)

(採決)

1 本件を原案のとおり決することについて起立により採決
(自民、道政反対)

閉会中継続審査の件

企業会計決算特別委員長から報告第44号ないし第50号について、決算特別委員長から前会より継続審査中の報告第1号について、申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

(議長の閉会あいさつ)

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○6月27日（金） 午前11時48分、第5委員会室
において開議、午後4時4分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

① 議案第70号（北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案）を議題とし、開発調整部長から、昨日の本委員会における小田原要四蔵委員（社会）の質疑に対する答弁の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、総研における地域研究の考え方と地域研究を継続実施することの必要性及び総研職員の活用方、学問、研究の自由及び尊重に対する見解と総研廃止との関連、総研廃止に伴う調査研究に対する道の対応と総研の研究実績の活用方、経済調査室の新設による行政効果と総研廃止理由との関連、総研の廃止についての検討経過とその十分性等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁の後、寺崎政朝委員（自民）から議事進行の発言があり、午後2時37分休憩、午後3時40分再開。委員長から、休憩中の理事会における協議結果について報告の後、本件に関し、質疑を終結して各派の意見を聴取し、採決することについてはかり、挙手多数（社会、公明反対）をもってそのことに決定の後、

小田原要四蔵委員（社会）、高橋敏委員（公明）、中田繁夫委員（社会）及び舟山広治委員（社会）から、それぞれ本件には反対との意思表示があり、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって修正議決と決定。

小田原要四蔵委員（社会）から、少数意見を留保する旨発言。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第58号 北海道立総合経済研究所の廃止提案撤回を求める件 （不採択）

陳情

第12号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件（外3件） （不採択）
第14号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第15号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第16号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件（外4件） （不採択）
第17号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第18号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第21号 北海道立総合経済研究所の存続の件 （不採択）
第22号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第23号 北海道立総合経済研究所の存続の件 （不採択）
第24号 北海道立総合経済研究所廃止案の再検討の件 （不採択）
第25号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第27号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）
第30号 北海道立総合経済研究所の存続、発展の件 （不採択）

一 般 議 事

○ 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

○7月5日（土） 午後零時55分、第5委員会室
において開議、午後1時散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一 般 議 事

○ 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月18日（金） 午後9時10分、第5委員会室
において開議、午後9時32分
散会

委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

① 議案第2号（過疎地域における道税の課税の特例に関する条例案）、議案第3号（北海道恩給条例等の一部を改正する条例案）、議案第4号（北海道税条例の一部を改正する条例案）、議案第5号（農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第10号（警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長及び警察本部警務部長から、それぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

② 議案第20号（財産の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

③ 報告第3号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、総務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり承認議決することに決定。

④ 報告第4号（専決処分報告につき承認を求める件）及び報告第20号（専決処分報告につき承認を求める件）を順次議題とし、総務部長及び警察本部総務部長から、それぞれ説明の後、異議なくいずれも原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

② 生活環境部長から、道民生活安定条例の施行状況について説明。

○7月19日（土） 午前11時34分、第5委員会室において開議、午後零時22分散会

委員長 伊藤 知則（自民）

請願、陳情の審査

請 願

第59号 網走支庁遠軽税務出張所廃止反対の件 （不採択）

本件について総務部長から発言の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、統合に対する関係町村の理解、納得の状況と道の認識、遠軽、富良野税務出張所の調定状況の推移について

質疑があり、総務部長から答弁の後、小田原要四蔵委員（社会）から本件について継続審査とすべき旨並びに寺崎政朝委員（自民）から、継続審査には反対する旨の意見があり、挙手採決の結果、本件の審査は終了することに決定。総務部長から、税務出張所の統廃合に伴う今後の道の対応等について発言。

一 般 議 事

① 委員長から、離島振興対策及び地域交通事情等の調査に関する道内調査の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

② 委員長から、釧路町の町制施行記念式典への委員出席については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

③ 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、昭和56年度北海道開発関係予算要望事項について説明。

厚 生 委 員 会

○6月27日（金） 午前11時3分、第9委員会室において開議、午前11時42分散会

委員長 宇野 真平（自民）

開議に先立ち、委員長から、北村義和委員（自民）が6月1日付けで北海道議会議員を辞職した旨を報告。

一 般 議 事

① 民生部長及び衛生部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

② 民生部長から、大沼大規模年金保養基地の

開業について報告。

- ③ 民生部長から、さきの委員会において砂原清治委員（社会）から報告要求のあった24時間保育に係る調査結果について報告の後、

砂原清治委員（社会）から、24時間保育の必要性と行政の早急な対応方について要望があった。

- ④ 衛生部長から、北海道保健医療基本計画の策定について説明。
- ⑤ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金統制額の改定について説明。
- ⑥ 衛生部長から、医療機関関係者等が開設する医薬品卸売業の実態調査の結果について説明。
- ⑦ 山家勇委員（社会）から、産炭地の医療問題に係る国立炭鉱病院の道内誘致についての道の取り組み方針と国の動向及び今後の見通し等について
- 質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

○7月18日（金） 午後9時5分、第9委員会室
において開議、午後9時11分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第6号（北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第21号（財産の取得に関する件）を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、宮本義勝議員（自民）が農地開発委員から所属変更された旨を報告。
- ② 議席の変更についてはかり、現在着席のとおりとすることに異議なく決定。
- ③ 委員長から、本委員会の理事の選任についてはかり、高橋康之委員（自民）を選任することに異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査

の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり異議なく決定。

○7月19日（土） 午前10時8分、第9委員会室
において開議、午前10時26分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

一般議事

- ① 各種審議会等委員の推せんについて、北海道民生委員審査会委員に保格博夫委員（社会）及び高橋康之委員（自民）を、北海道献血推進協議会委員に桜井外治委員（自民）をそれぞれ推せんすることに決定。
- ② 委員長から、道内調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 民生部長及び衛生部長から、昭和56年度北海道開発関係予算重点要望事項について説明。
- ④ 民生部長から、精神薄弱児施設「長井学園」における収容児の死亡事故について報告。

商工労働委員会

○6月27日（金） 午前10時45分、第8委員会室
において開議、午前10時50分
散会
委員長 池島 信吉（社会）

一般議事

- 商工観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月18日（金） 午後9時9分、第8委員会室
において開議、午後9時15分
散会
委員長 池島 信吉（社会）

付託案件の審査

- 議案第7号（北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案）を議題とし、商工観光部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することと

した。

一 般 議 事

- ① 委員長から、家庭用灯油の価格の抑制に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期は7月22日から7月24日までとし、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月19日（土） 午前10時16分、第8委員会室
において開議、午前10時56分
散会

委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内商工労働事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期は8月6日から8月8日まで、実施場所は斜里、羅臼、中標津及び根室の各市町とし、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ② 商工観光部長から、海外炭導入に関する中間報告の概要について報告の後、
笹浪幸男委員（自民）から、室蘭市のコールセンターの本計画での位置づけについて
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。
- ③ 商工観光部長及び労働部長から、昭和55年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。

農 務 委 員 会

○6月27日（金） 午前10時40分、第7委員会室
において開議、午後零時5分
散会

委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和55年産生産者米価等に関する要望意見案について、配付の案文により

発議することをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 農務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 農務部長から、(1)農作物の生育状況並びに農作業の進捗状況、(2)農作物の作付動向並びに転作等の実施計画、(3)馬伝染性子宮炎の発生状況等、(4)FRPサイロの事故対策について説明の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、(1)馬伝染性子宮炎の伝染性と流産との関係、(2)FRPサイロの補修完了基の確認検査の有無、傾斜、膨張の補修について

質疑があり、農務部長から答弁。

- ⑤ 神本三也委員（社会）から、稲転対策の推進に係る小麦の黄化萎縮病についての道の指導上の問題点、稲転対策に伴う総合的な転作指導体制の整備の必要性等について
質疑及び意見があり、農務部長から答弁。
- ⑥ 神本三也委員（社会）から、乳業メーカーの加工原料乳買い入れ量削減の表明についての受けとめ方と生産者との取引上の法的問題点及び道の対処策

岡本栄太郎委員（社会）から、国会の農水委員会における乳業メーカーの社長発言に対する道の判断と企業責任との関連及び道の積極的な対応方について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁の後、

湯田倉治委員（道政）から、本件に関し、本委員会として乳業メーカー等からの事情聴取について発言があった。

○7月18日（金） 午後9時10分、第7委員会室
において開議、午後9時15分
散会

委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さき実施した昭和55年産生産者米価等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、第2期水田利用再編対策に関

する要望意見案について、配付の案文により発議することををはかり、異議なく決定。

- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ④ 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○7月19日（土） 午前10時35分、第7委員会室
において開議、午前11時8分
散会
委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 農務部長から、農作物生育状況並びに農作業の進捗状況について報告。
- ② 農務部長から、昭和55年産生産者麦価決定について報告。
- ③ 農務部長から、昭和56年度北海道開発関係予算要望事項について説明。
- ④ 岡本栄太郎委員（社会）から、たまねぎの価格安定制度に関し、現在までの経過と保障基準価格を下げた理由、価格保障対象数量の拡大についての考え方、基金積立額と保障対象数量との関係等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長及び稲作園芸課長から答弁。

建 設 委 員 会

○6月27日（金） 午前11時5分、第4委員会室
において開議、午前11時21分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一 般 議 事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 中川隆之委員（道政）から、工事の発注に関し、小規模工事、港湾・漁港工事の発注が遅れている理由等について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁。

- ③ 伊藤豪委員（道政）から、道営住宅の家賃見直しの有無と改定の手順及び入居者との十分な協議方について

質疑及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○7月18日（金） 午後9時8分、第4委員会室
において開議、午後9時20分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第12号ないし第15号（工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第19号（工事請負契約の変更に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、
湯本芳志委員（社会）から、契約金額変更の具体的内容と工事設計に当たった事前の調査・研究の厳密化について要望があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。
付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ② 土木部長から、第1回定例会に提出のあった損害賠償の額の決定に係る議案のその後の措置経過について報告。

○7月19日（土） 午前10時48分、第4委員会室
において開議、午前11時14分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、北海道住宅対策審議会委員の任期満了に伴う委員の推選について、水沼徳一郎委員長（自民）、湯本芳志委員（社会）、高木繁光委員（自民）及び中川隆之委員（道政）の4名を選出することををはかり、異議なく決定。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和56年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。
- ③ 土木部長から、北海道建設業審議会の「本道における建設業の健全な発展と振興を図るため、その近代化に関する方策」に関する答申の概要について報告。

農 地 開 発 委 員 会

○6月27日（金） 午前10時49分、第3委員会室
において開議、午前10時58分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、小規模農用地整備事業の概要について説明の後
工藤万砂美委員（自民）から、55年度事業の希望地区数と追加実施に対する考え方及び56年度以降の地区数増の意向について
質疑及び要望があり、農地開発部長から答弁。
- ② 委員長から、道内における農業基盤事業調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○7月18日（金） 午後9時11分、第3委員会室
において開議、午後9時13分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）
開議に先立ち、委員長から7月5日の本会議において、宮本義勝委員が厚生委員に所属変更になった旨を報告。

一 般 議 事

- ① 委員の所属変更に伴う議席についてはかり、現在着席のとおりとすることに異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月19日（土） 午前10時27分、第3委員会室
において開議、午前10時52分

散会

委員長 高田 忠雄（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、昭和56年度北海道開発予算要望事項等について説明の後、
笠島保委員（社会）から、56年度予算の財政事情及び公共事業の繰り延べ措置についての見通し等
西尾六七委員（自民）から、水田利用再編対策と農業基盤整備事業との関係、厳しい財政状況下における農業基盤整備についての国の考え方、公共事業の凍結状況と今後の見通し
工藤万砂美委員（自民）から、公共事業の発注のあり方に関し、農家経済への寄与及び地元中小企業への発注に対する配慮等
中川義雄委員（自民）から、零細企業の受注機会の確保に対する積極的な取り組み等について
質疑及び要望があり、農地開発部長及び技監から答弁。
- ② 委員長から、昭和56年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

水 産 委 員 会

○6月27日（金） 午前10時37分、第6委員会室
において開議、午前10時47分
散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

- 水産部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月18日（金） 午後9時9分、第6委員会室
において開議、午後9時11分
散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月19日（土） 午前10時54分、第6委員会室
において開議、午前11時30分
散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、昭和56年度北海道開発予算
要望事項について説明。
- ② 委員長から、昭和56年度開発予算に関する
中央折衝の実施並びに韓国漁船問題に関する
中央折衝の実施についてはかり、異議なく決
定。実施時期、派遣委員等については、委員
長に一任することとした。
- ③ 委員長から、留萌及び桧山支庁管内の水産
事情調査の実施についてはかり、異議なく決
定。派遣委員等については、委員長に一任す
ることとした。
- ④ 川崎守委員（共産）から、リベリヤ船の遭
難に伴う油流出のその後の状況、同船のタン
ク数
委員長から、問題点整理による実態報告方
長岡寅雄委員（社会）から、流出油による
魚価等への影響と行政上の対応について
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答
弁。

文 教 林 務 委 員 会

○6月27日（金） 午前10時43分、第10委員会室
において開議、午前10時56分
散会
委員長 熊谷 克治（社会）

一 般 議 事

- ① 教育長から、第2回定例会提出予定案件に
ついて説明。
- ② 林務部長から、北海道森林組合連合会及び
湧別町森林組合に関し、その後の経過につい
て報告。

本日聴取した陳情

虻田高等学校校舎移転改築について
虻田高等学校校舎移転改築期成会副会長

○7月18日（金） 午後9時7分、第10委員会室
において開議、午後9時12分

散会
委員長 熊谷 克治（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第8号（北海道公立学校の学校医、学
校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関
する条例の一部を改正する条例案）及び議案
第9号（北海道立学校設置条例の一部を改正
する条例案）を一括議題とし、教育長から説
明の後、異議なく原案のとおり可決すること
に決定。
- ② 議案第16号ないし議案第18号（工事請負契
約の締結に関する件）を一括議題とし、教育
長から説明の後、異議なく原案のとおり可決
することに決定。
- ③ 報告第5号ないし報告第19号（専決処分報
告につき承認を求める件）及び報告第21号（専
決処分報告につき承認を求める件）を一括議
題とし、教育長から説明の後、異議なく原案
のとおり承認議決することに決定。付託案件
に対する委員長報告については、委員長に一
任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、
今後付託されるものを含め、閉会中継続審査
の申し出をすること及び所管事務について、
閉会中継続調査の申し出をすることををはかり
異議なく決定。

○7月19日（土） 午前11時33分、第10委員会室
において開議、午前11時39分
散会
委員長 熊谷 克治（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内における文教林務事情調
査の実施についてはかり、異議なく決定。実
施時期、派遣委員等については、委員長に一
任することとした。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和
56年度北海道開発関係予算についてそれぞれ
説明。
- ③ 委員長から、昭和56年度北海道開発関係予
算に関する中央折衝の実施についてはかり、
異議なく決定。実施時期、派遣委員等につい
ては委員長に一任することとした。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○6月27日（金） 午後2時14分、第1委員会室
において開議、午後4時20分
散会

委員長 作田 政次（自民）

- ① 開発調整部長から、さきの本委員会において笠島保委員（社会）から提出要求のあった「石油共同備蓄に係る災害及び公害の防止に関する協定書」に係る資料について説明。
- ② 開発調整部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月18日（金） 午後9時38分、第1委員会室
において開議、午後9時45分
散会

委員長 作田 政次（自民）

付託案件の審査

- 議案第11号（美利河ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

その他の議事

- ① 委員長から、本委員会の田刈子政太郎委員（自民）の辞任に伴い、佐々木利昭委員（自民）が補充選任された旨を報告。
- ② 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月19日（土） 午後零時45分、第1委員会室
において開議、午後1時散会、
委員長事故のため、

副委員長 吉田 英治（社会）

- ① 開発調整部長から、昭和56年度北海道開発関係予算について説明。
- ② 委員長から、昭和56年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに道内の開発事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

石炭対策特別委員会

○6月27日（金） 午後2時18分、第11委員会室
において開議、午後3時13分
散会

委員長 工藤 万砂美（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した新石炭政策の確立に関する中央折衝等の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、5月14日衆議院石炭対策特別委員会に参考人として出席し、「今後の石炭政策及び産炭地域振興について」配付の会議録のとおり意見を述べた旨を報告。
- ③ 商工観光部長及び労働部長から、「産炭地域振興臨時措置法」の失効に伴う中央情勢並びに北炭清水沢炭鉱閉山に伴う地元商工業者対策に係る金融措置及び離職者対策について報告の後、

湯田倉治委員（道政）から、要対策者の内容

藤井虎雄委員（社会）から、解雇者数と求職受理数の差について

質疑があり、労働部長から答弁。

- ④ 山家勇委員（社会）から、第7次石炭政策に関し、国の石炭政策に対する道の基本的な考え、石炭産業安定を図るための十分な予算措置方、暖房炭の確保と需給体制、北電向け電力炭の需給見通しと資料の提出方等

藤井虎雄委員（社会）から、北電の外炭確保と炭価のあり方及び暖房炭の需給見通し等

湯田倉治委員（道政）から、既存炭鉱の安定のための資金措置及び技術者養成等の必要性について

質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○7月5日（土） 午後4時38分、第11委員会室
において開議、午後4時40分
散会

委員長 工藤 万砂美（自民）

開議に先だち、本委員会の水沼徳一郎委員（自民）の辞任に伴い、若狭靖委員（自民）が補充選任された旨報告。

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議な

く現在着席のとおりとすることに決定。

- ② 委員長から、国内石炭鉱業安定に関する要望意見案について配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、国内石炭鉱業安定に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○7月19日（土） 午前11時54分、第11委員会室において開議、午後零時54分散会

委員長 工藤 万砂美（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した国内石炭鉱業安定に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、海外炭の導入に関する中間報告の概要について説明の後、
藤井虎雄委員（社会）から、中間報告と通産省の委託調査との関連及び苦衷の全体計画におけるコールセンターの位置づけ
湯田倉治委員（道政）から、道内における外炭輸入会社の設立の動きとコールセンターとの関連について
質疑があり、商工観光部長から答弁。
- ③ 山家勇委員（社会）から、夕張新鉱の技術開発に対する見解、資金確保の具体策及び労働意欲の低下に対する具体策
藤井虎雄委員（社会）から、北電の炭価アップに対する道の考え方及び石炭鉱業審議会における知事の発言内容等について
質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○7月8日（火） 午後4時43分、第3委員会室において開議、午後4時58分散会

委員長 田辺子政太郎（自民）

開議に先だち、副委員長から、北村義和委員長（自民）の議員辞職及び若狭靖委員（自民）の委員辞任に伴い、田辺子政太郎委員（自民）及び水沼徳一郎委員（自民）が補充

選任された旨を報告。

委員長の互選

- 副委員長から、委員長互選の方法についてははかり、米村邦敏委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、田辺子政太郎委員（自民）を委員長に選出。

その他の議事

- ① 委員長から、議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 領対本部長から、根室地域振興対策及び旧漁業権補償のその後の経過について説明。

○7月19日（土） 午後零時40分、第3委員会室において開議、午後1時5分散会

委員長 田辺子政太郎（自民）

- ① 領対本部長から、昭和56年度北海道開発関係予算要望事項の概要、北方領土返還要求強調月間の実施、北方領土返還祈念シンボル像の建設及び北方館の建設について説明の後、
高田忠雄委員（道政）から、56年度開発予算における根室地域特別対策の北方領土特別交付金の見通しについて
質疑があり、領対本部長から答弁。
- ② 委員長から、道内調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

○6月27日（金） 午後4時15分、第2委員会室において開議、午後4時21分散会

委員長 和田 勝之（自民）

- 生活環境部長から、北海道石油共同備蓄株式会社の石油備蓄に係る災害及び公害防止に関する協定について報告。

○7月18日（金） 午後9時35分、第2委員会室において開議、午後9時40分散会

委員長 和田 勝之（自民）

- ① 生活環境部長から、昭和55年度公害の状況

等に関する年次報告について報告。

- ② 委員長から、付託の請願について今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月19日（土） 午後零時37分、第2委員会室において開議、午後零時45分散会

委員長 和田 勝之（自民）

- 生活環境部長から、昭和56年度北海道開発予算要望事項について説明。

有珠山噴火災害対策特別委員会

○6月27日（金） 午後4時47分、第1委員会室において開議、午後5時58分散会

委員長 浅川 正敏（自民）

- ① 委員長から、さきを実施した有珠山周辺における現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長から、有珠山周辺地域対策プロジェクトチームの報告について説明の後、
- 舟山広治委員（社会）から、地殻変動による住家の被害の状況、地元陳情に係る被害実態の認識と適切な対策のあり方及び委員会への対応のあり方との関連
- 湯本芳志委員（社会）から、地元陳情に対する道の対応の仕方と民家の被害対策
- 影山豊委員（社会）から、住宅被害の防止対策、災害対策の取り組み方、地殻変動による土地変化の状況と境界線等の問題発生件数及び地籍調査の実施に対する考え方、被害住民の移転に伴う資金等の対策、避難道路の整備、外輪山からの土石流の対策、人身事故の防止対策等
- 高橋康之委員（自民）から、道路被害に伴う整備について国へ要請の有無等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、農務部長、住宅都市部長及び土木部長から答弁。
- ③ 総務部長から、有珠山周辺の地殻変動に伴う建築物の被害状況について報告。
- ④ 工藤啓二委員（公明）から、有珠山災害に

関する見舞金の支給根拠、見舞金額の算定基準と増額に対する考え方について質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○7月18日（金） 午後9時55分、第1委員会室において開議、午後10時1分散会

委員長 高橋 賢一（自民）

委員長の互選

- ① 副委員長から、浅川正敏委員長（自民）から委員長辞任願いが提出されている旨を報告の後、委員長辞任についてはかり、異議なく許可することに決定。
- ② 副委員長から、委員長互選の方法についてはかり、吉野之雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、高橋賢一委員（自民）を委員長に選出。

その他の議事

- ① 委員長から、有珠山周辺地域における地盤変動災害に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

予算特別委員会

○7月11日（金） 午後3時45分、第1委員会室
において開議、午後3時54分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

正副委員長の互選

- ① 村上彝明臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、佐藤静雄委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって渋谷澄夫委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岩崎守男委員（社会）の動議により川口常人委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後3時49分休憩、午後3時50分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

小田原要四蔵（社会）	榎林 巖（社会）
小田部善治（道政）	橋 浪蔵（道政）
中川 義雄（自民）	松本 勇（自民）
青山 正男（自民）	工藤 啓二（公明）
岩崎 守男（社会）	佐々木利昭（自民）
米田 忠雄（自民）	大平 秀雄（自民）
池島 信吉（社会）	村上 彝明（自民）
高橋正四郎（自民）	

○第2分科委員（15人）

神本 三也（社会）	高橋 康之（自民）
木下 一見（道政）	水岡 薫（自民）

長岡 寅雄（社会）	川崎 守（共産）
川口 常人（自民）	佐藤 静雄（自民）
寺崎 政朝（自民）	新沼 浩（自民）
小沢 栄吉（自民）	吉田 英治（社会）
熊谷 克治（社会）	水沼徳一郎（自民）
東 典俊（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について通告の形式により、一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うことをはかり異議なく決定。

第1分科会

○7月11日（金） 午後3時55分、第1委員会室
において開議、午後4時5分
散会
第1分科委員長
岩崎 守男（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に岩崎守男委員（社会）、分科副委員長に松本勇委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議によりこれを行うことをはかり、異議なく決定。理事には、佐々木利昭委員（自民）、榎林巖委員（社会）、小田部善治委員（道

政)、工藤啓二委員(公明)をそれぞれ選出。

- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月12日(土) 午前10時10分、第1委員会室
において開議、午後3時46分
散会

第1分科委員長

岩崎 守男(社会)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員(共産)からの本分科会への出席及び公安委員会所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

樫林 巖委員(社会)から、

- (1) 原付自転車の安全対策に関し、原付自転車の普及状況、免許取得の方法と技能講習会の実態、免許取得時の技術指導の法制化
- (2) 道交法の改正に伴う指導に関し、法改正の周知徹底方法と今後の改善策
- (3) 交通安全施設と交通取締りに関し、標識等の視認性の確保、スピード違反取締りのあり方、レーダー探知機の販売実態の把握、改造車両に対する取締り、過積載違反取締実態と今後の方策、遵法意識の高揚に対する所見等について

湯田 倉治委員(道政)から、

- (1) 公選法違反の取締りに関し、連呼行為の実態と取締強化の必要性、選挙違反取締の基本的考え方等
- (2) 薄野の浄化等に関し、ストリップ劇場の実態、宣伝カーの数、行動範囲、宣伝内容に対する規制、公然わいせつ行為の解釈及び検挙の状況、今後の取締対策等について

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 道警記者クラブへの通行に関し、通行規制のあり方と判断基準、道警記者クラブの設置目的と表現の自由との関連及び取材活動尊重の必要性等
- (2) 駐在所・派出所の整備に関し、道内の施

設数、建設年次、改築計画等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、総務部長、交通部長及び防犯部長から答弁があり、公安委員会所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後1時54分休憩、午後1時59分再開。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、鈴木誠二委員(社会)から質疑通告の取下げがあった旨報告の後、川崎守第2分科委員(共産)の本分科会への出席及び発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。ついで、

樫林 巖委員(社会)から、

保育所園児に対する生乳給食に関し、保育所における生乳飲用の状況、牛乳とスキムミルクとの栄養価の比較、3歳以上の保育児の生乳給食に要する必要量、金額、生乳給食に対する道費補助の考え方について

川崎 守委員(共産)から、

- (1) 特別養護老人ホームに関し、渡島福祉会の特別養護老人ホームの施設入所者に対する処遇のあり方と道の指導監督、今後の改善策、特別養護施設設置及び配置に対する道の考え方、56年度の渡島管内の設置希望数等
- (2) ウタリ対策に関し、ウタリ対策の実施状況と評価、計画策定にあたってウタリ協会等の意見を聞く必要性
- (3) 精薄者に対する交通費助成に関し、実態にあった弾力的運用方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があった民生部及び企業局所管に対する質疑を終結。

○7月14日(月) 午前10時15分、第1委員会室
において開議、午後4時23分
散会

第1分科委員長

岩崎 守男(社会)

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 水道水の安全性に関し、塩素処理に伴う発ガン性物質発生のメカニズム、メリハロメタンの総量規制、有機物質を少なくすることに対する考え方、道の今後の対処策及

び早急な実態調査の必要性

- (2) 音更エージェント及び手足口病に関し、発生状況と治療方法、医学的な取組み状況、
- (3) 殺虫剤の安全性に関し、遺伝性毒物を含有する殺虫剤が市販、使用されていることに対する道の見解及び対処策、早急な実態調査と注意喚起の必要性
- (4) 食品添加物の安全性に関し、OPPを使用したかんきつ類の道内での流通量、許容量を越えてOPPが使用されていることに対する措置、店頭表示の徹底、L牛乳の製造量と過酸化水素の使用状況、残留の可能性
- (5) 黄体ホルモン剤ドオギノンの薬禍に関し、薬禍の現状と販売量の把握、道立病院における使用状況と今後の指導方針
- (6) フツ素の使用に関し、道が実施しているフツ素塗布及び洗口の実態、フツ素使用による効果、慎重な取扱いの必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、2時30分休憩、2時38分再開。ついで、

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

道発展計画に関し、進行管理の状況、計画策定後の情勢変化と計画に与える影響に対する受けとめ方、エネルギー確保、重化学工業の現状と見通し、苫東地域の製造業における雇用増の見込み、明年度の開発予算要求の基本方針、地元負担の増加についての対処策、発展計画と他の長期計画との整合性及び市町村計画との関連等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって開発調整部所管に対する質疑を終結。

○7月15日（火） 午前10時37分、第1委員会室において開議、午後5時16分散会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

池島 信吉委員（社会）から、

水質汚濁防止対策に関し、公共用水域の汚

濁の状況、都市内河川の水質汚濁と公共下水道の整備の促進、帯広川、松倉川の汚染の状況と対策、湖沼の水質汚濁状況と下水道整備計画の計画年次の短縮、リンの使用規制についての取組み等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。理事者の交代のため午前11時25分休憩、午前11時30分再開。

② 人事委員会所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可するをはかり、異議なく決定の後、

小野 秀夫委員（道政）から、

給与制度に関し、53年度及び54年度の特別昇級の実施状況、等級別格付けの実態、5等級の特例措置の実施状況、人事委員会の性格と職務権限、給与決定の諸原則に対する考え方、給与条例と人事委員会規則との関連及び規則への委任の限界、特別昇級の種類、定数をこえた特別昇級の適法性、今後の是正についての考え方、運用昇短の実施状況、法的根拠、自治省通達に対する受けとめ方、いわゆる「わたり昇格」の実態と標準職務表との関係、5等級の昇格に関する特例措置の条例及び規則上の根拠、適法性に対する見解、今後の是正に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、人事委員長から答弁。副委員長から、本間喜代人委員（共産）から、発言申し出の取下げがあった旨報告があって人事委員会所管に対する質疑を終結。

③ 総務部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

情報公開に関し、情報公開に対する基本的な考え方、制度化するにあたって法制上、実際上の問題点、国及び他府県の取組み状況の把握、住民の情報公開の要請に対する対応、秘密文書の取扱いと文書公開の基準、情報の開示基準について資料の提出方等について

質疑、意見及び要求があり、総務部長から答弁。

○7月16日（水） 午後2時40分、第1委員会室において開議、午後5時37分

散会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

○ 総務部所管に対する質疑の続行、

分科委員長から、昨日の熊谷克治委員（社会）の要求に係る資料の提出があった旨を報告の後、

熊谷 克治委員（社会）から、

情報公開に関し、情報の開示基準と守秘義務に係る秘密の範囲、公電漏洩事件に係る判例の受けとめ方、機関委任事務に係る文書の公開に対する考え方、今後の情報公開に対する取組み姿勢等について

湯本 芳志委員（社会）から、

損害賠償に関し、第1回定例会に提案された損害賠償の額の決定に関する議案のその後の措置状況と議会への報告が欠けている理由、労災法の解釈に係る最高裁判例に対する所見、地公災法58条の規定の趣旨及び本事案についての適用関係、道の本事案の処理にあたって国公災法に係る判例を参酌した理由等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○7月17日（木） 午前10時35分、第1委員会室において開議、午後7時8分散会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

○ 総務部所管に対する質疑の続行、

湯本 芳志委員（社会）から、

損害賠償に関し、地公災法58条の解釈、類似事案についての判例、国家公務員の公務災害に係る事案についての判例に準拠する根拠と妥当性、介護料等が支払われない理由、被害者との示談交渉のあり方、障害補償年金の額の算定の根拠、損害賠償委員会の構成等

小田原 要四蔵委員（社会）から、

外務公務員の道への派遣に関し、道と外務省との協議の進展の有無、外務省の出先機関設置から待命大使派遣へ移行した経緯、待命大使の性格、任務と道行政との係わり、外交権を有しない地方公共団体が外務公務員の派遣を要請する理由、外務公務員の派遣に対す

る国と道の認識の相違等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

○7月18日（金） 午前10時26分、第1委員会室において開議、午後3時10分閉会

第1分科委員長

岩崎 守男（社会）

① 総務部所管に対する質疑の続行、

総務部長から、昨日の小田原要四蔵委員（社会）の質問に対する答弁の後、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

外務公務員の道への派遣に関し、待命大使の身分、給与と職務内容及び在任期間が短期であることによる支障の有無、待命大使と在札の在外公館との関連及び行動の範囲、大使の執務室提供に伴う補助職員、経費の負担内容及び法的根拠、待命大使派遣要請と地方公共団体の自主性に対する見解等について

小野 秀夫委員（道政）から、

給与制度に関し、特別昇級の実施率が30%を上回っていることの妥当性、運用昇短の条例上の根拠、条例による人事委員会規則への委任の限界、現行の運用を再検討する考え、標準職務表の位置づけとわたり昇格との関連及び適法性に対する見解、是正の考え、給与の適正化に対する今後の取組み等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があった総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第2分科会

○7月11日（金） 午後3時56分、第2委員会室において開議、午後4時4分散会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に佐藤 静雄委員（自民）、分科副委員長に長岡寅雄委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり自民、社会、道政各1名計3名の理事を選びその協議により行うこと及び共産党についてはオブザーバーの扱いとすることを決定。理事には、水岡 薫委員（自民）、神本三也委員（社会）、木下一見委員（道政）をそれぞれ選出。
- ④ 議席についてはかり、異議なく配布の議席表のとおりとすることに決定。

○7月12日（土） 午前10時10分、第2委員会室
において開議、午後3時7分
散分
第2分科委員長
佐藤 静雄（自民）

① 林務部所管に対する質疑に入り、

神本 三也委員（社会）から、

民有林の振興に関し、森林組合の経営実態、森林組合の振興策、林業技術者の養成・確保、赤字組合となる原因分析、今後の対策、出資の健全化、道森連の再建の方法、道の基本的な考え方、単位組合の自己資本の充実、道に対する支援要請についての見解等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午前11時13分休憩、午前11時18分再開。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

雇用対策に関し、道内の最近の雇用情勢と今後の見通し、求職者の実態、中高年齢者の雇用状況と雇用の場の具体的な確保策、特定不況地域に対する公共事業の雇用効果、道雇用促進協会の業務内容と補助効果、道内における定年制延長の状況と行政指導、婦人のパートタイマーに係る道の施策、実態調査の有無等について

質疑及び意見があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により、午後零時43分休憩、午後1時53分再開。

③ 土木部所管に対する質疑に入り、

鈴木 誠二委員（社会）から、

公共事業の発注に関し、中小建設業者の受注機会の確保、分離、分割発注の拡大、元請・下請間の紛争処理体制の整備、適正な請負代金、支払時期等についての考え方について

小田原 要四蔵委員（社会）から、

道土木事業相談所に関し、設置目的と相談件数及び内容、担当者数及び報告システム、関係者への通知の必要性、事務処理の改善についての検討方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

○7月14日（月） 午前10時21分、第2委員会室
において開議、午後4時48分
散会
第2分科委員長
佐藤 静雄（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

(1) 中小企業金融対策に関し、道内の景気動向と今後の見通し、企業倒産防止の具体策

(2) 道商工会連合会及び商工共済協同組合の運営に関し、道費補助額、貯蓄共済事業、生命障害事業の内容及び両者の関係、貯金共済における預金残高と積立金額の不符合の理由、金融機関に対する委託の内容と今後の取扱い、金融機関の期別残高の相違の内訳と今後の処理方法

(3) 信用保証協会の運営に関し、審査手続の迅速化、無担保無保証の限度額の引上げ、連帯保証人に対する債権行使のあり方等について

吉野 之雄委員（社会）から、

原子力発電所の安全性等に関し、原子力安全委員会の防災対策についての提言に対する受けとめ方、住民に対し事故等の事例を知らせる考え、国の安全審査に対する所見、電源立地協議会の構成、協議内容、共和・泊原発の進行状況、現地説明会のテーマ、用地取得の時期、炉心の地点及び人口過密地帯からの距離、緊急避難のための防災体制について

小野 秀夫委員（道政）から、

コールセンター構想に関し、苫東地区を選

定した理由、道新規エネルギー導入検討委員会の中間報告と今後の取り組み、苫東コールセンターと室蘭コールセンターの機能分担、室蘭市にＣＯＭ燃料製造工場を誘致する考え等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって商工観光部所管に対する質疑を終結。

○7月15日（火） 午前10時25分、第2委員会室
において開議、午後5時12分
散会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

① 農地開発部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

(1) かんがい溝の事故防止対策に関し、かんがい溝における事故の発生状況及び危険個所の把握状況、危険個所の解消対策、国の財政措置

(2) 農業基盤整備に関し、水田減反に伴う転作条件整備のための事業制度、道営かんがい排水事業等の条件緩和の必要性和国への要望、明年度の道開発予算要求の内容と今後の見通し、事業量の増大に伴う人員配置と定員増の考え方（関連して、長岡寅雄委員（社会）から、かんがい排水溝の事故防止に関し、かんがい溝の整備事業実施時に安全施設を整備する考え）等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前11時32分休憩、午前11時38分再開。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

(1) 韓国漁船の操業に関し、日韓の交渉に係る知事の記者会見での発言と本会議での答弁のそご、国の基本姿勢、国内規制と同様の措置を韓国に求める必要性、日韓実務者会談の内容、漁具被害等の今後の救済対策

(2) 道漁連の運営に関し、北商に対する「かずのこ」等の販売量と代金決済の状況、再建の見通し

(3) サケ・マスの流通価格等に関し、価格形成についての調査の状況、サケ・マスの養殖事業についての道の計画について

川崎 守委員（共産）から、

(1) 道漁連の運営に関し、架空取引に係る欠損金の内容、架空取引の相手業者、関係者の処分等と真相解明の方途、北市の倒産に対する見解

(2) サケ定置漁業に関し、秋サケ漁の割当てに対する基本的な考え方、函館地区の振興対策等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時休憩、午後3時10分再開。ついで、

③ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

池島 信吉委員（社会）から、

下水道整備事業に関し、公共用水域の水質汚濁状況と下水道整備の状況、都市内の河川及び湖沼等の水質汚濁防止のための下水道整備の促進、特定施設の排水規制と指導監督、終末処理場の維持管理の民間への委託状況と十分な指導監督の必要性について

本間 喜代人委員（共産）から、

(1) 競争入札に関し、入札保証金の納付免除の基準

(2) 都市計画及び道路整備に関し、最上町線の拡幅についての住民意向の受けとめ方と市との事前協議、緑奥塩谷線の道道昇格の見通し

(3) 下請業者の保護に関し、道の指名業者に対する下請保護についての十分な指導方等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって住宅都市部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後4時25分休憩、午後4時40分再開。

④ 農務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二第1分科委員（公明）の本分科会への出席及び農務部所管に対する発言の申し出について通告の分科委員の質疑終了後これを許可することについては、異議なく決定。

保格 博夫委員（社会）から、

FRPサイロの安全性に関し、補修工事の状況、日本建築センターの評定基準の妥当性、サイロ内でのガス発生事故の状況、窒素ガス発生メカニズム等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

○7月16日（水） 午後1時48分、第2委員会室
において開議、午後5時34分
散会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

○ 農務部所管に対する質疑の続行、

農務部長から、昨日の保格博夫委員（社会）
の質疑に対する答弁の後、

保格 博夫委員（社会）から、

(1) FRPサイロの安全性に関し、ガス発生
防止のための方法と指導、栗山町の死亡事
故と労働安全衛生法に基づく酸欠症防止規
則との関連性、道の指導、危険防止対策、
道立農試でサイロガスについて研究する必
要性

(2) てん菜の取引に関し、糖分取引への移行
の目的と道の見解、農家の要望の尊重と条
件整備、的確な行政指導の必要性について

神本 三也委員（社会）から、

家畜保健衛生所に関し、家畜の疾病状況、
家畜保健衛生所の配置の適否と獣医師の確保
の必要性、定数確保の見通し、業務手当の改
善の考え方等について

岡本 栄太郎委員（社会）から、

道産米の自主流通に関し、限度数量内の米
を自主流通させることに対する見解、道産米
を業者が値下げ販売することの懸念、一般家
庭用の販路拡大、五穀米の自主流通について
の全中・全農の考え方と道の見解、寒農振の
答申についての北海道農業検討会の意見、農
家負担を伴う限度数量内の米を自主流通する
ことの妥当性及び食管制度との関連、道産米
の消費拡大対策、学校給食に道産米を取り入
れることについての積極的な取り組み方等につ
いて

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○7月17日（木） 午前10時22分、第2委員会室
において開議、午後8時21分
散会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

○ 農務部所管に対する質疑の続行、

岡本 栄太郎委員（社会）から、

(1) 酪農問題に関し、酪農振興に対する道の
基本的な考え方及び対策、雪印乳業の乳量
削減等に伴う今後の措置、チーズの需給見
通しと消費拡大、製品開発に取組む姿勢、
牛乳の取引におけるたん白の評価、酪農検
査所存続の必要性と検討委員会での検討状
況

(2) 釧路市農協の大口貸付に関し、道の検査
状況、改善指導の内容、員外利用に対する
指導内容、貸付限度額について指導する考
え

(3) 馬れいしょ原種農場の廃止に関し、地元
住民の意向把握、協議の経過、廃止につ
いて支庁職員の発言内容の妥当性と事実関係
の調査方等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。神本三也委
員（社会）から議事進行発言があり、午後零時42分休
憩、午後8時29分再開し、直ちに散会。

○7月18日（金） 午前11時48分、第2委員会室
において開議、午後3時41分
閉会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

① 農務部所管に対する質疑の続行、

農務部長から、昨日の岡本栄太郎委員（社
会）の質疑に対する答弁の後、岡本栄太郎委
員（社会）から発言。分科委員長から、工藤
啓二委員（公明）から質疑通告の取り下げの
申し出があった旨の報告があり、農務部所管
に対する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員（社会）から、

(1) PTA活動のあり方に関し、PTA会費
による学校運営費の負担の現状と解消の方
法及び指導内容、PTA活動の独自性尊重
の必要性、釧路の養護学校のPTA会計の
実態及びPTA会計に対する道教委の権
限、陳情のためにPTA予算の大部分が支
出されていることに対する見解

(2) 学校給食に関し、臭素酸カリウムの使用
中止の状況、米飯給食における道産米の比
率向上についての取り組み、釧路の共同調
理場方式に対する見解

(3) 教員採用の登録に関し、AB登録算定の基本的な考え方、B登録未採用者の採用見通し、「ひのえうま」による学級減に伴う教員採用への影響

(4) 教育課程に関し、教科書の教育行政における位置づけ、三領域に対する認識と教育現場の創造性の尊重等について

木下 一見委員（道政）から、

教育課程編成に関し、三領域編成の実施状況、小樽市における教育課程の編成と市教委の報告内容、「わかる算数」を主教材としていることに対する道教委の見解、組合の行事に出席する場合の年次休暇の取り扱い、地教行法48条の解釈と道教委の市町村教委に対する適切な指導、助言方について

川崎 守委員（共産）から、

(1) 養護教員に関し、職務の具体的な内容、配置基準と教員1人当りの適正な生徒数、勤務実態の調査方

(2) 道立近代美術館に関し、地方美術館の設置計画と函館市からの要望に対する受けとめ方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

小田原 要四蔵委員（社会）から、

外務公務員の道への派遣に関し、外務省の出先機関設置要請から大使派遣要請に変わった理由、外交問題について国と地方公共団体の事務分担と外務公務員の派遣を求める必要性、派遣について目的、方法を更に検討する考え等について

川崎 守委員（共産）から、

株式会社北市の再建に関し、道としての取り組み姿勢及び対策について

質疑及び意見があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため午後8時49分休憩。午後8時52分再開。

③ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号について意見の一致をみるに至らなかった旨報告の後、議案第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、報告第1号及び第2号を一括問題とし、異議なくいずれも承認議決とすることに決定。

④ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

○7月18日（金） 午後7時5分、第1委員会室において開議、午後8時55分閉会

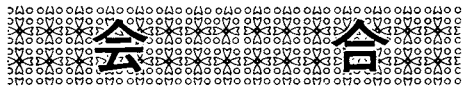
委員長 渋谷 澄夫（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

北海道商工会連合会に対する指導監督に関し、貯蓄共済事業の銀行預金の残高と実際の残高と相違している理由、連合会及び指定金融機関に対する指導方



全国都道府県議会議長会

○7月24日（木） 都道府県会館において役員会を開催。会長（香川県議長）のあいさつの後、協議に入り、第75回定例総会の提出議案について、各委員長報告のとおり決定し、「行政改革の推進に関する決議案」ほか1件を役員会提出議案として決定。次に、第75回定例総会の日程及び議案審議の方法について、全議事務局長から説明のとおり了承の後、定例総会議決事項の要望運動方法及び役員の選任方法について、協議決定した。次に、会長から、北方領土返還祈念シンボル像建設協会のシンボル像建設に関する発言があって、閉会した。

○7月30日（水） 都道府県会館において第75回定例総会を開催。会長（香川県議長）のあいさつに引き続き、来賓の内閣総理大臣並びに自治大臣からあいさつの後、議事に入り、議長に会長を選出し、役員会提出の「行政改革の推進に関する決議案」及び「エネルギー対策の推進に関する決議案」を原案のとおり決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも原案のとおり決定。ついで、要望事項の実行運動方法について、全議事務局長説明のとおり了承。ついで、役員選任について役員選考委員会を設置のうえ休憩、再開後、役員選考委員長報告のとおり、会長には東京都議長、副会長に北海道、山形県、群馬県、石川県、滋賀県、山口県、徳島県及び熊本県議長、理事には宮城県、神奈川県、静岡県、和歌山県、岡山県、高知県及び福岡県議長、監事には栃木県、奈良県及び香川県議長を選任し、引き続き、各委員会正副委員長を選任決定して、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の拡充強化について
- 3 首都圏等整備並びに新産業都市建設等に対する財政特別措置の延長について
- 4 「貸金業規制法（仮称）」の早期制定に

ついて

- 5 同和対策事業の推進について
- 6 暴走族の排除について
- 7 座席ベルト着用の法令整備について

社会文教委員会関係

- 1 高齢化社会に対応する諸施策の推進について
- 2 重度心身障害児（者）、母子家庭及び乳幼児の医療費公費負担制度の確立について
- 3 「母子保健法」の改正について
- 4 都市児童健全育成対策の拡充強化について
- 5 「精神障害者福祉法（仮称）」の制定について
- 6 医療ソーシャルワーカーの制度化について
- 7 市町村社会福祉協議会の充実強化について
- 8 上水道事業に対する助成措置の拡充について
- 9 覚せい剤対策の充実強化について
- 10 富栄養化対策の推進化について
- 11 長距離自然歩道整備事業の促進について
- 12 高等学校の新増設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 13 公立高等学校教職員定数にかかる暫定措置について
- 14 国立中小企業大学（仮称）の創設について
- 15 第24回オリンピック競技大会招致について

商工労働委員会関係

- 1 中小企業対策の強化について
- 2 エネルギー資源対策の推進について
- 3 石油化学コンビナートの保安及び防災対策の強化について
- 4 工業の地方分散対策の強化について
- 5 物価安定対策について
- 6 中高年齢者の雇用対策の強化について

建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 下水道整備の促進について
- 3 都市公園等の整備促進について

- 4 治水事業の促進について
 - 5 道路整備の促進について
 - 6 海岸保全事業の促進について
 - 7 鉄道輸送網の整備と輸送力強化について
 - 8 国鉄地方交通線対策について
 - 9 港湾整備事業に対する財政措置の強化について
 - 10 地域振興対策の推進について
 - 11 水資源対策について
 - 12 活動火山対策の充実強化について
- 農林水産委員会関係
- 1 農業基本政策の確立並びに水田利用再編対策について
 - 2 米の消費拡大対策の推進について
 - 3 農業生産基盤整備事業の促進について
 - 4 畜産経営安定対策について
 - 5 林業振興対策について
 - 6 松くい虫防除対策の拡充強化について
 - 7 漁業振興対策について

都道府県議会議員共済会

○7月30日（水） 全国議長会会議室において理事会を開催。会長（東京都議長）のあいさつの後、副会長の互選等について協議を行い、閉会した。

第2回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件名	議決月日	公布月日	公布番号
北海道税条例の一部を改正する条例	※	3.31	北海道条例第58号
村を町とする処分に伴う関係条例の整備に関する条例	※	4.1	北海道条例第59号
北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例	6.28	7.5	北海道条例第60号
過疎地域における道税の課税の特別に関する条例	7.18	7.22	北海道条例第61号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第62号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第63号
農村地域の工業導入地区における事業税等の特例に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第64号
北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第65号
北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第66号
北海道公立学校の学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第67号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第68号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第69号

- ※ 1. 条例第58号は3月31日専決処分、7月18日承認議決
 2. 条例第59号は4月1日専決処分、6月28日専決処分報告

7 月 の メ モ

- 5日 ○厚生省が54年「簡易生命表」を発表。平均寿命は、男性73.46歳、女性78.89歳とさらに伸びる。
- 9日 ○故大平首相の「内閣・自民党合同葬」が日本武道館で行われ、約6千人が参列。外国からもカーター米大統領、華国鋒中国首相ら50カ国と2国際機構の代表が列席。
- 10日 ○来日中のカーター・華国鋒両首脳は、東京で、国際情勢などについて意見交換。
- 12日 ○石狩町の定例町議会は、空席のままだった町助役の選任同意案を反対多数で否決。
- 14日 ○「国連婦人の10年」1980年世界会議が、コペンハーゲンで開幕。「婦人の差別撤廃条約」に日本の高橋展子首席代表ら52カ国代表が署名（17日）。
- 15日 ○自民党は両院議員総会を開き、第10代総裁に鈴木善幸氏（総務会長）を選任、併せて首相指名候補に選出。
- 16日 ○米共和党全国大会で、80年大統領選挙の同党候補にロナルド・レーガン前カリフォルニア州知事を指名。
- 17日 ○自民党の鈴木総裁は、第92特別国会で第70代首相に指名され、直ちに組閣。
- 18日 ○インド、国産ロケットによる人工衛星を打ち上げる。ソ連、米、仏、日、中国についで6番目。
○第2回定例道議会閉会。
- 19日 ○第22回夏季オリンピック・モスクワ大会は、81カ国が参加して開幕。
- 21日 ○自治省の住民基本台帳に基づく総人口は1億1千619万人（3月31日現在）昨年より90万人増、一世帯平均家族数は、3.24人（前年3.2人）。
- 22日 ○国際捕鯨委員会年次総会は商業捕鯨の全面禁止案を否定。
○道経連の資源エネルギー委員会は65年を最終年度とする道内エネルギーの中期見通しをまとめた。
○52年の有珠山噴火で火口源に生成した新山の名称が「有珠新山」と決まる。
- 24日 ○道教委は、道教育長期総合計画（後期56年～60年度）実施計画案を同計画審議会に諮問した。
- 25日 ○米連邦準備制度理事会は、公定歩合を現行年率11%から10%に引き下げることを決定。
- 27日 ○外務省の安保保障政策企画委員会は、安全保障政策に関する見解を公表。その中で「国連の平和維持活動への要員派遣」という表現で、自衛官派遣を含む人的貢献を提唱。
○パーレビ元イラン国王は、亡命先のエジプトのカイロで死去。行年60歳。
- 31日 ○55年産米生産者米価を審議する米価審議会が開かれ、政府は基本米価2.3%引き上げ（61キロ当たり17,674円）を諮問。